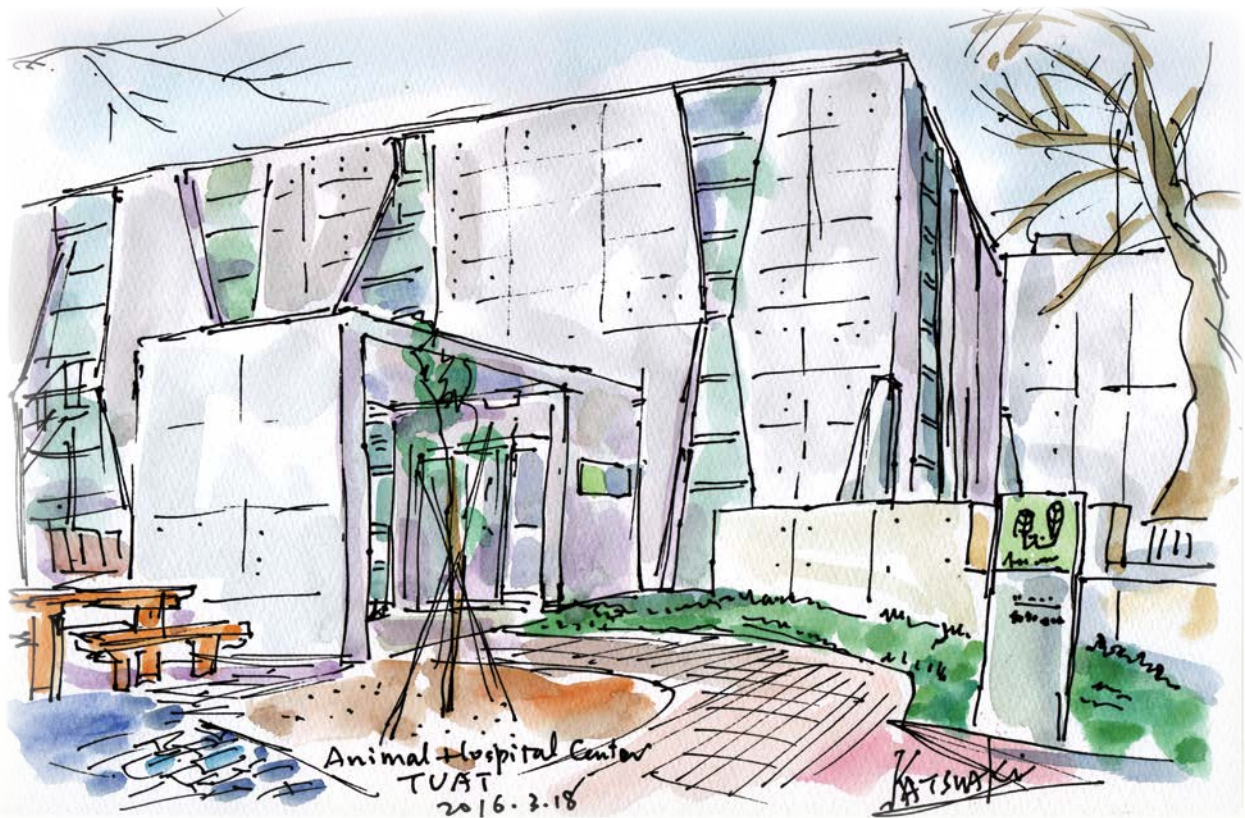


農工通信

The Graduates' Association of
Tokyo University of Agriculture and Technology

NO.93 / 2017.8



東京農工大学同窓会
<http://www.tuat-dousoukai.org/>



会長就任挨拶	1
会長退任挨拶	2
学長挨拶	3
同窓会第54回理事会・通常総会	4
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	11
叙勲受章にあたり 鮎澤 光昭、藤本 大三郎、岩上 一紘	12
退職にあたり 石川 芳治、岩淵 喜久男、植竹 照雄、國見 裕久、 瀨瀨 明伯、長岐 滋、丹生谷 博、馬場 眞知子、 早川 東作、御園生 保子、守 一雄	15
平成28年度同窓会学生援助事業報告	19
部会・支部・クラス会だより	20
掲示板	34
事務局だより	37
編集後記	

表紙：佐藤勝昭（東京農工大学名誉教授）

題字：沢野 勉（農化S32）

■ 会長就任の挨拶 ■



同窓会長 能條 武夫（織高S48）

今年5月27日の第54回通常総会において、同窓会長に選任されました能條でございます。

私は、昭和48年工学部繊維高分子工学科を卒業いたしました。その年に在阪の企業に就職し勤務先はそのまま現在に至っております。最初の25年間は関西周辺の事業場を転々とし、その後、約10年近くの間、海外赴任でインドネシア、タイで勤務いたしました。現在は大阪に居を構えておりますが、仕事の関係で各地を転々としていたこともあり、長い間大学との関係も途絶えておりました。

歴代の同窓会長の方々のご活躍を振り返りますと、こんな私で良いのかと不安な思いで一杯になりますが、同窓会員皆様方のご協力を得ながら責任を果たしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の草野会長におかれましては、ご就任の年に東京農工大学創基140周年、同窓会創立50周年の合同式典開催を迎えられ、大変なご苦勞があったのではないかと思います。お陰様で合同式典は、大学にとっても同窓会にとっても鮮明に記憶に残る素晴らしい記念行事となりました。そのご苦勞に対し深く敬意を表すると共に、厚くお礼を申し上げたいと思っております。

また、この3月には合同記念式典の際にご講演を頂いた、農工大の特別名誉教授であられる遠藤章先生が、カナダの「ガードナー賞」を受賞されるという嬉しいニュースがありました。先生は青カビから血中コレステロールの値を下げる薬の開発に繋がった物質「スタチン」を發

見され、心不全などの心血管疾患の予防や治療に大きく貢献されました。今でも記念講演をお聞きした際の、研究に対する真摯な取組みと、世の中のために限りのない努力を続けておられるお姿が鮮明に印象に残っております。農工大卒業生として大きな誇りに思うと共に、心よりお祝いを申し上げたいと思っております。今後もお体に留意され益々ご活躍されることをご期待申し上げます。

同窓会の目的は「会員相互の親睦を深め併せて同窓並びに母校の発展を図る」ことにあり、そのための事業を継続的に行うことが第一であります。本年度の課題は「一般社団法人化」への取組みが上げられます。2008年12月1日に「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」が施行され、一般法人の枠組みが大きく変更されました。同窓会等の任意団体においても法人化が有力な選択肢となってきております。法人化により団体が契約や取引の主体となることが出来、そのことにより円滑な組織運営が出来ること、それが延いては同窓会活動の更なる活性化にも繋がってまいります。

登記にかかわる必要な手続き、会計書類の作成や決算公告の費用負担等の課題も考えられますので、常務理事会や事務局の方ともよく相談しながら、部会・支部会の意見も十分に反映させた上で検討を進めてまいりたいと思っております。

最後に、重ねて同窓会員皆様方の今後も変わらぬご協力をお願いいたしまして会長就任のご挨拶といたします。

■ 会長退任の挨拶 ■

前同窓会長 草野 洋一（養蚕S47）



平成25年5月に同窓会長に就任してから、もう4年もたってしまいました。年を取ったせいでそう感じるのか、地球温暖化で地球の自転が早まったのか、まさに「光陰矢の如し」です。

リーマンショック後の厳しい経済状況下であり、更には東日本大震災という未曾有の大災害に遭遇した大変な社会状況下において、寄付金を集め、同窓会50周年記念事業をやり遂げた藤森明彦会長の後任でしたので、かなり気後れをした覚えがあります。さて、私はこの4年間何をしたかと考えますと、大過なく終えることができたという感じしか思い浮かびません。このこと自体は組織の成果としては立派なことですが、その多くは、研究と授業でお忙しい中、時間をやりくりして行動していただいた同窓会前理事長の鈴木創三先生及び現理事長の滝山博志先生、常務理事の先生方、献身的な働きで実務をこなしていただいた池谷事務局長と事務局の方々、いつも温かい御支援をいただいた大学当局、そして何よりも部会長・支部長をはじめとする同窓会員の御理解と御協力によるものであり、会長である私の寄与率と言え、四捨五入をすると無くなってしまいそうです。

就任時に手帳に書いた個人的な課題メモを見ますと、新しい様式の同窓会名簿の発行、海外の同窓生の組織化と支援、学会参加（海外を含む）への旅費支援等先生や院生へのささやかな研究支援、農学部本館資料室及び工学部の科学博物館への支援、農工大学創基140周年への協

力（大久保利通公の子孫の式典招聘等も構想していました）等々、やる気満々で、その気になればもっと具体的成果を出せたものもありそうですが、多くは不十分でした。これらのうち、次期会長のお考えに沿う項目があれば、同窓会法人化の件と併せて、よろしくお願い致したいと思います。

最近話題になっている「世界の大学ランキング」の日本版が出ましたが、我が農工大が旧帝大等に伍して結構いい線に位置している記事を見まして、同窓生としていい気分になりました。大学の発展は同窓会の発展でもありますので、先生、学生、院生、事務局等の方々の一層の活躍を期待しています。同窓会も応援します。私も一会員として応援します。

同窓会員の皆様、本当にお世話になりました。

■ 学長に就任して ■

東京農工大学長 大野 弘幸



東京農工大学の第13代学長として平成29年4月1日に就任しました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。皆様のご協力のもとで、この重責を果たすべく全力で邁進する所存です。

ご承知のように、東京農工大学は1874年の創基以来、数回にわたりその組織を改組させ、着実に成長しながら、我が国の産業の基幹である農学と工学の2分野を中心に進化してきました。140年以上の長い歴史を誇りつつ、新しいことに積極的に挑戦し、これらの分野の教育と研究を精力的に推進させております。また、社会の要請にいち早く対応した教育や研究、さらには社会貢献などにおいて画期的な取組を全国に先駆けて採用し、大学の機能強化に努めております。こうした輝かしい歴史は、本学で学び、研究を推進し、社会に巣立ったすべての卒業生の努力の総和であります。

教育は国の宝です。人材の育成なくして国の未来はありません。東京農工大学では教育と研究を軸として、すべての教職員が将来を担う若人の育成に努力しております。豊かな教養と高い倫理観、さらには鋭い国際感覚を持った人材を育成するには、基礎から応用に至るまでの幅広い教育が不可欠です。しかも、個性のある有能な人材育成には、大学院での研究活動が重要です。農・工両学部や大学院はもとより、世界一流の教授を招聘して本学で共同研究を進めるグローバルイノベーション研究院や、5年

一貫の大学院課程を通して即戦力となりうる人材育成を行うリーディング大学院プログラムなど、特色ある組織運営やプログラムの推進を展開しております。多くの学生にとって最先端の教育を受け、研究とともに推進させることは、国際感覚を身に着ける上でも極めて有効です。世界のトップ研究者と議論し、懇談し、成果を取りまとめてゆく過程は学生たちにとって大きな刺激であり、自信となることでしょう。このような活動の成果は、本学の学部課程修了後の学生の高い大学院進学率や、高い女子学生比率にも表れています。

本学で育った卒業生がそれぞれの夢に向かって努力し、世界で活躍することは本学の教職員にとって最大の喜びです。卒業生と本学との関係をより強くするために、ホームカミングデーをはじめとするイベントが始まりますが、卒業生の活躍や最新状況をていねいに把握することが重要であろうと思っています。ともに喜び、ともに考えるような関係を維持し、卒業生の皆さんの本学との一体感や同窓意識をより強くしてゆきたいと思います。同窓会や支部会の予定があれば、是非お声かけ下さい。大学の近況などを説明しに伺います。これから共に進むべき道などについてご意見を伺えることができれば幸いです。

同窓会第54回理事会・通常総会

■日時：平成29年5月27日（土）13：30～15：00 ■場所：小金井キャンパス ■出席者：226名（内委任状78名）



第54回理事会・通常総会は、5月27日（土）小金井キャンパスで開催された。通常総会に先立って理事会が講義棟L0024教室で開催され、滝山理事長を議長に選任した。議長から、部会名変更の報告、平成29・30年度会長・副会長の推挙、理事・代議員の選任（交代）、特別会員の推薦、通常総会の議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催にあたって、千年副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。草野会長から、出席いただいた方々に対するお礼と、有意義な討論のお願いの挨拶があった。続いて、大野学長をはじめ、来賓（梅田理事、荻原理事、岡山理事、島村理事、千葉農学部長、船田連合農学研究科長、畑中名誉会長、小畑名誉顧問）の紹介があった。大野学長から、新任のご挨拶と同窓会の支援に対する謝意があり、協力関係強化についてのお話があった。

引き続き、千年副理事長から、通常総会の議長については、会則第35条に基づき草野会長が務める旨の説明があった後、会則第37条第2項により草野会長、畑監事、生原監事が議事録署名人となり議事に入った。

報告

1. 特別会員の推薦報告の件

滝山理事長から、資料に基づき、理事会で推薦された特別会員13名の報告があり、了承された。

2. 同好部会設置報告の件

滝山理事長から、新たに「東京農工大学技術士会」「農工大同窓会イノベーション研究

会」の2つの同好部会が設置された旨の報告があり、了承された。

3. 部会名変更報告の件

滝山理事長から、常務理事会で「応用物理学部会」を「物理システム工学部会」に部会名変更することを承認した旨の報告があり、了承された。

議事

1. 平成28年度事業報告（案）の件

滝山理事長から、平成28年度事業報告(案)【別記1】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

2. 平成28年度収支決算報告（案）の件

滝山理事長から、平成28年度収支決算報告(案)【別記2】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

3. 平成28年度監査結果報告の件

畑監事から、平成28年度の会計、事業・業務遂行状況及び個人情報保護に関する取り扱いについて、適正に行われている旨の監査報告があり、了承された。

4. 平成29年度事業計画（案）の件

滝山理事長から、平成29年度事業計画(案)【別記3】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

5. 平成29年度収支予算（案）の件

滝山理事長から、平成29年度収支予算(案)【別記4】について提案説明があり、審議の結果、特定目的財産支出(No.53)周年記念事業支出の項目を削除、(No.56)の図書・名簿等刊行行事支出を図書等刊行行事支出に変更して承認された。

6. 平成29・30年度会長・副会長の選任(案)の件

滝山理事長から、平成29・30年度会長・副会長の選任(案)【別記5】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

7. 理事・代議員の選任(交代)(案)の件

滝山理事長から、理事・代議員の選任(交代)(案)【別記6】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

8. 同窓会法人化の件

滝山理事長及び鈴木法人化検討委員長から、同窓会法人化【別記7】について提案説明があり、審議の結果、今後1年をかけて議論を進めていくことが承認された。

9. 東京農工大学同窓会会則の変更(案)の件

滝山理事長から、東京農工大学同窓会会則

の変更(案)【別記8】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

10. その他の件

○分収林について

滝山理事長から、分収林について口頭により説明があり、審議の結果、分収林管理の方向性の確立と責任体制の構築をした上で、継続して検討することが承認された。

○新旧会長の退任・新任挨拶

草野旧会長から退任の、能條新会長から新任の挨拶があった。

【別記1】平成28年度事業報告

1. 第53回理事会・通常総会の開催

平成28年5月28日(土)府中キャンパスにて第53回理事会・通常総会を開催した。

議事内容は、1)平成27年度事業報告(案)、2)平成27年度収支決算報告(案)、3)平成27年度監査報告、4)平成28年度事業計画(案)、5)平成28年度収支予算(案)、6)平成28・29年度理事・代議員の選任(案)について、7)平成28・29年度理事長・副理事長・常務理事の指名について、8)監事の選任(案)について、9)特別会員の推薦報告、10)連合農学部会の設置について、11)同窓会法人化について、12)その他、新旧理事長の退任・新任挨拶

2. 平成28年度副会長懇談会の開催

平成28年11月12日(土)、府中キャンパスにて平成28年度副会長懇談会を開催した。

3. 同窓会の組織と活動

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行った。

1) 法人化：一般社団法人への移行について、平成28年度総会で提案した。同窓会法人化検討委員会を8回開催するとともに、副会長懇談会及び支部向け説明会で一般社団法人東京農工大学同窓会定款の素案説明会を開催した。平成30年度の総会で決定する予定。

2) 運営経費：歳出削減に努めるとともに、

会費収入が少ない予算規模での活動方針、長期的な資金保持・運用などについて検討した。保有していた国債をすべて売却し、新たに国債を購入した。ペイオフ対策のため、定期預金をすべて10,000千円にした。

- 3) **会費等**：入会金・賛助会費等の納付率を向上させるための方策を検討し実施した。
- 4) **部会の組織編成**：常務理事会で検討を加えた。
- 5) **総会構成員**：「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努めた。
- 6) **同窓会誌「農工通信」**：年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
- 7) **部会・支部活動**：常務理事の部会・支部への派遣及び学術的な講演会開催支援も引続き行い、今まで派遣要請のなかった支部にも派遣した。部会・支部への新たな支援方策を検討した。
- 8) **同好部会**：「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等に関する規程第2条第2項」に基づく同好部会の充実に努めた。
- 9) **準会員への援助**：準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の

援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。また、準会員に対して同窓会の活動を理解してもらうようなPRをした。さらに、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実に努めた。

- 10) **同窓会ホームページ**：「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実に努めた。

4. 同窓会活動の課題

- 1) **分収林**：分収林契約の今後を検討するための小委員会を立ち上げた。
- 2) **海外支部設置**：インドネシアの支部設置に協力した。
- 3) **PR活動**：同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及びホームページによるPR活動に努めた。
- 4) **会員の動静情報整理**：農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
- 5) **会員の慶弔時の表意**：祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。
- 6) **災害時の同窓生支援**：熊本地震の被災状況を調査し、被災された同窓生の支援を行った。

5. その他

- 1) **校歌・寮歌のCD作成**：担当者の委員会で編集・作成を進め、ホームページに校歌・寮歌を掲載した。



【別記2】 平成28年度 収支決算報告書（案）（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）（単位：円）

No.	区分	細分	科目	(A) 平成28年度 予算額	(B) 平成28年度 決算額	(A) - (B) 増減	備考	
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金）	330,000,000	330,000,000	0		
2			余剰金からの繰入（30%超える分）	0	0	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
4			収入合計（1～3）	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出	0	0	0		
6			支出合計（5）	0	0	0		
7			基本財産残高（4-6）	330,000,000	330,000,000	0		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	-302,556	-302,556	0		
9			入会金	3,300,000	3,300,000	0	5,000円×660名=3,300,000円（内29名再案内入金者）	
10			年会費	1,200,000	1,247,500	-47,500	1,500円×831名=1,246,500円、1,000円×1名=1,000円	
11			終身会費	2,500,000	3,210,000	-710,000	（完納）30,000円×106名=3,180,000円 （分納）10,000円×3名=30,000円	
12			賛助会費	19,000,000	19,410,000	-410,000	30,000円×647名=19,410,000円	
13			利息	1,900,000	1,184,671	715,329	国債1,165,000円、預金19,671円	
14			寄附金	0	70,701	-70,701	一般寄附	
15			雑収入	300,000	250,000	50,000		
16			基本財産運用益	0	13,261,242	-13,261,242	国債売却益	
17			収入合計（8～16）	27,897,444	41,631,558	-13,734,114		
18			支出	動静調査費	570,000	101,505	468,495	後納郵便料67円×1,515通=101,505円（動静はがき返信）
19				会報発行費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
20				H P管理作成費	270,000	160,704	109,296	新規・更新掲載料、サーバーレンタル料
21				部会・支部活動費	6,500,000	5,535,800	964,200	活動費（18部会、39支部、4同好部会、）、総会補助金（9部会、31支部）、祝金（5部会、27支部）、講演謝金1支部、メールアドレス収集補助金（2部会、1支部）
22				母校援助費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
23				新入正会員歓迎費	780,000	758,360	21,640	卒業証書カバー
24		分収林管理費		30,000	9,840	20,160	旅費	
25		資料整備費		200,000	267,840	-67,840	新入生への案内パンフレットおよびベアレんツデー用リーフレット印刷費、卒業生・修了生用封筒・目隠しシール印刷	
26		事業費計（18～25）		8,350,000	6,834,049	1,515,951		
27		総会会議費		4,000,000	3,900,700	99,300	出席交通費（139名分）3331,470円、懇親会費500,000円	
28		副会長懇談会費		180,000	59,352	120,648	副会長懇談会出席交通費（16名分）、お弁当代ほか	
29		常務理事会議費		120,000	92,430	27,570	常務理事会出席旅費ほか	
30		会議費計（27～29）		4,300,000	4,052,482	247,518		
31		人件費		5,350,000	5,896,791	-546,791	給与	
32		社会保険料等		340,000	313,845	26,155	労働保険料ほか	
33		備品費		0	0	0		
34		消耗品費		310,000	150,988	159,012	コピー用紙、文房具ほか	
35		複写機トータルサービス料		620,000	605,593	14,407	コピー代	
36		通信費		270,000	195,270	74,730	電話料、宅急便、メール便	
37		旅費		1,500,000	1,601,488	-101,488	支部総会理事派遣旅費、法人化検討委員会開催旅費ほか	
38		事務用品印刷費		70,000	47,520	22,480	封筒印刷	
39		慶弔費		100,000	19,490	80,510	電報、生花代	
40		光熱水費		150,000	115,975	34,025	電気料金	
41		職員厚生費		300,000	399,419	-99,419	退職金（常勤職員1名、非常勤職員2名）、人間ドック補助金1名	
42		租税公課		400,000	181,421	218,579	利息にかかる国税	
43		振込手数料		270,000	255,358	14,642		
44		その他雑費		310,000	208,981	101,019	感謝状作成、損害保険料、個人情報溶解、残高証明ほか	
45		管理費計（31～44）		9,990,000	9,992,139	-2,139		
46		予備費		5,257,444	2,932,664	2,324,780	入会金・賛助会費の返付（1名）31,500円、農学部本館改修式典補助281,904円、新入生再案内経費106,145円、法人化説明会旅費1,685,528円、科学博物館130周年記念事業費補助299,710円、農工通信関連経費（予算不足補填）242,400円、国債購入経過利息285,477円	
47		支出合計（26+30+45+46）		27,897,444	23,811,334	4,086,110		
48		運用財産残高（17-47）	0	17,820,224	-17,820,224			
49		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	59,298,084	59,298,084	0	
50				余剰金からの繰入（30%超える分）	0	0	0	
51				上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
52				収入合計（49～51）	59,298,084	59,298,084	0	
53	支出		八王子分収林育成事業費	0	0	0		
54			周年記念事業費	0	0	0		
55			学生援助事業費	6,000,000	5,429,815	570,185	学生援助事業前期・後期分	
56			被災会員支援事業費	0	1,272,426	-1,272,426	熊本県地震調査費139,543円 熊本地震義援金（11名）1,100,000円 義援金発送費ほか32,883円	
57			図書・名簿等刊行事業費	0	0	0		
58			その他本財産に適合する事業費	10,000,000	9,979,787	20,213		
59			支出合計（53～58）	16,000,000	16,682,028	-682,028		
60	特定目的事業財産残高（52-59）	43,298,084	42,616,056	682,028				
61	合計（7+48+60）	373,298,084	390,436,280	-17,138,196				
62	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0		
63	総合計（61+62）			406,175,484	423,313,680	-17,138,196		

【別記3】 平成29年度事業計画（案）

1. 第54回理事会・通常総会の開催

平成29年5月27日（土）小金井キャンパスにて第54回理事会・通常総会を開催する。

内容は、報告1)特別会員の推薦報告の件、2)同好部会の設置報告の件、3)部会名変更報告の件。議事1)平成28年度事業報告(案)の件、2)平成28年度収支決算報告(案)の件、3)平成28年度監査報告の件、4)平成29年度事業計画(案)の件、5)平成29年度収支予算(案)の件、6)平成29・30年度会長・副会長の選任(案)の件、7)部会理事・部会代議員の選任(交代)(案)の件、8)同窓会法人化の件、9)東京農工大学同窓会会則の変更(案)の件、10)その他の件、分収林について、新旧会長の退任・新任挨拶

2. 平成29年度副会長懇談会の開催

平成29年11月11日（土）、府中キャンパスにて平成29年度副会長懇談会を開催する。

3. 同窓会の組織と活動

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行う。

- 1) **法人化**：一般社団法人への移行について、平成29年度総会で定款(案)及び下部規程(案)を提案、平成30年度の総会で法人化を決議するため検討を重ねる。
- 2) **運営経費**：歳出削減に努めるとともに、会費収入が少ない予算規模での活動方針、長期持続的な資金保持・運用などについて検討する。
- 3) **会費等**：入会金・賛助会費等の納付率を向上させるための方策を検討し実施する。
- 4) **部会の組織編成**：学科再編等に対応すべく、常務理事会に加えて、副会長懇談会でも検討する。
- 5) **総会構成員**：「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努める。
- 6) **同窓会誌「農工通信」**：年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 7) **部会・支部活動**：常務理事の部会・支部への派遣及び学術的な講演会開催支援も引続き行い、今まで派遣要請のなかった

支部にも派遣を促し活性化する。部会・支部の新たな活動を支援する。

- 8) **同好部会**：「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等に関する規程第2条第2項」に基づく同好部会の充実に努める。
- 9) **準会員への援助**：準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。また、準会員が同窓会活動を理解できるようなPRを行う。さらに、同窓会と東京農工大学と相互に同窓生情報を共有し、就職支援等の充実に努める。
- 10) **同窓会ホームページ**：「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねる。部会・支部のホームページ立ち上げに協力する。

4. 同窓会活動の課題

- 1) **分収林**：新たな利用法についての方向性も視野に入れ、八王子市との折衝を行う。
- 2) **海外同窓生活動支援**：アジアの各国にいる同窓生との情報共有を広げ、同窓生の活動を支援する。
- 3) **PR活動**：同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及びWEBによるPR活動に努める。新たに、ペアレンツデーでの賛助会員への説明や企業説明会などの就職支援活動を開始し、同窓会活動の広報につとめる。
- 4) **会員の動静情報整理**：農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) **会員の慶弔時の表意**：祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。
- 6) **災害時の同窓生支援**：被災状況を調査し、必要に応じて被災された同窓生の支援を行う。

5. その他

- 1) **校歌・寮歌のCD作成**：担当の委員会で編集・作成をさらに進める。

【別記4】 平成29年度収支予算（案）

（単位：円）

No.	区分	細分	項目	平成29年度 予算額①	平成28年度 予算額②	差異 ①-②	摘要	
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金 6）	330,000,000	330,000,000	0		
2			余剰金からの繰入れ(30%を超える分)	0	0	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入れ	0	0	0		
4			収入合計（1+2+3）	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0		
6			支出合計（5）	0	0	0		
7			基本財産残高（4-6）→次年度繰越金	330,000,000	330,000,000	0		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	3,876,954	-302,556	4,179,510	前年度の剰余金17,138,196円-特定目的財産への繰入金13,261,242円	
9			入会金	3,300,000	3,300,000	0	前年度実績3,300,000円を勘案	
10			年会費	1,200,000	1,200,000	0	前年度実績1,247,500円を勘案	
11			終身会費	3,000,000	2,500,000	500,000	前年度実績3,210,000円を勘案	
12			賛助会費	19,000,000	19,000,000	0	前年度実績19,410,000円を勘案	
13			利息	900,000	1,900,000	-1,000,000	前年度実績は1,184,671円だが、国債の利息収入減を見込んで900,000円を計上。	
14			寄附金	0	0	0		
15			雑収入	300,000	300,000	0	前年度実績は250,000円だが、広告料収入の増加につとめることとし300,000円を計上	
16			収入合計（8~15の計）	31,576,954	27,897,444	3,679,510		
17			支出	動静調査費	570,000	570,000	0	昨年度予算額と同額を計上
18				会報発行費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
19				HP管理作成費	270,000	270,000	0	前年度実績160,704円だが、見直しを検討中のため昨年度予算額と同額
20				部会・支部活動費	6,000,000	6,500,000	-500,000	前年度実績は5,535,800円だが、部会・支部活動の更なる支援をするため6,000,000円を計上
21				母校援助費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
22				卒業生援助費	780,000	780,000	0	前年度実績758,360円を勘案
23				分収林管理費	30,000	30,000	0	前年度実績額9,840円と本年度活動費の増を見込んで30,000円を計上
24		資料整備費		270,000	200,000	70,000	前年度実績267,840円を勘案	
25		事業費計（17~24の計）		7,920,000	8,350,000	-430,000		
26		総会会議費		4,000,000	4,000,000	0	前年度決算3,900,700円を勘案	
27		副会長懇談会費		120,000	180,000	0	前年度実績は59,352円だが、余裕を見て120,000円を計上	
28		常務理事会費		120,000	120,000	0	前年度実績は92,430円だが、余裕を見て120,000円を計上	
29		会議費計（26~28の計）		4,240,000	4,300,000	-60,000		
30		人件費		5,750,000	5,350,000	400,000	前年度実績5,896,791円だが、昨年度の特異性を勘案して5,700,000円を計上	
31		社会保険料等	320,000	340,000	-20,000	前年度実績313,845円を勘案		
32		備品費	0	0	0	前年度実績0円を勘案		
33		消耗品費	200,000	310,000	-110,000	前年度実績150,012円を勘案		
34		複写機トータルサービス料	620,000	620,000	0	前年度実績605,593円を勘案		
35		通信費	270,000	270,000	0	前年度実績261,890円を勘案		
36		旅費	1,700,000	1,500,000	200,000	前年度実績1,601,488円を勘案		
37		事務用品印刷費	50,000	70,000	-20,000	前年度実績47,520円を勘案		
38	慶弔費	50,000	100,000	-50,000	前年度実績は19,490円だが、変動も見込まれるので50,000円を計上			
39	光熱水費	120,000	150,000	-30,000	前年度実績115,975円を勘案			
40	職員厚生費	100,000	300,000	-200,000	退職金、人間ドック等			
41	租税公課	200,000	400,000	-200,000	前年度実績181,421円を勘案			
42	振込手数料	270,000	270,000	0	前年度実績額255,358円を勘案			
43	その他雑費	250,000	310,000	-60,000	前年度実績208,981円だが、変動も見込まれるので250,000円を計上			
44	管理費計（30~43の計）	9,900,000	9,990,000	-90,000				
45	予備費	9,516,954	5,257,444	4,259,510	臨時の会議が想定されるため、予備費を多めに計上			
46	支出合計（25+29+44+45）	31,576,954	27,897,444	3,679,510				
47	運用財産残高（16-46）→次年度繰越金	0	0	0				
48	特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	42,616,056	59,298,084	-16,682,028		
49			余剰金からの繰入(30%を超える分)	0	0	0		
50			上記以外の余剰金からの繰入	13,261,242	0	13,261,242	基本財産運用益を特定目的事業財産に繰り入れ	
51			収入合計（48+49+50）	55,877,298	59,298,084	-3,420,786		
52		支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0		
53			周年記念事業支出	0	0	0		
54			学生援助事業支出	5,000,000	5,000,000	0	収入の大幅な減のため本年度も特別に母校援助費を特定目的事業財産から支出する。前年度実績5,429,815円を勘案し、さらに対象を見直すこととし5,000,000円を計上	
55			被災会員支援事業支出	0	0	0		
56			図書一名簿等刊行事業支出	0	0	0		
57			その他本財産に適合する事業支出	10,000,000	10,000,000	0	収入の大幅な減のため本年度も特別に会報発行費を特定目的事業財産から支出する。前年度実績9,979,787円を勘案	
58			支出合計（52~57の計）	15,000,000	15,000,000	0		
59	特定目的事業財産残高（51-58）→次年度繰越金	40,877,298	44,298,084	-3,420,786				
60	合計（7+47+59）	370,877,298	374,298,084	-3,420,786				
61	特定資産		八王子分収林育成成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価	
62	総合計（60+61）			403,754,698	407,175,484	-3,420,786		

【別記5】平成29・30年度会長・副会長の選任（案）

同窓会会則第11条第1項第1号「会長・副会長は理事会が推挙し、総会で選任する」に基づき、理事会は平成29・30年度会長・副会長に次の者を推挙する。

平成29・30年度 同窓会会長及び副会長候補者

現体制		候補者氏名	卒年度	推薦母体
草野 洋一	養蚕 S47	能條 武夫	織高 S48	
板橋 久雄	農 S39	板橋 久雄	農 S39	農学・生物生産学協会
安藤 俊幸	蚕糸 S49	安藤 俊幸	蚕糸 S49	蚕糸生物学協会
佐藤 令一	植防 S54	佐藤 令一	植防 S54	植防・応用生物学協会
柿内 久弥	農化 S54	柿内 久弥	農化 S54	農芸化学・応用生命化学協会
岡山 隆之	林産 S49	佐藤 敬一	林産 S56	林産・生物資源工学協会
楊 宗興	環保 S54	楊 宗興	環保 S54	環境科学協会
本山 芳裕	林 S48	本山 芳裕	林 S48	林学協会
加藤 誠	農工 S44	島田 清	農工 S48	生産環境工学協会
小池 伸介	地生 H13	小池 伸介	地生 H13	地域生態システム学協会
田谷 一善	獣医 S46	田谷 一善	獣医 S46	獣医学協会
羽田 有輝	製糸 S43	草間 健一	製糸 S43	製糸・高分子・生命工学協会
千田 武	織高 S46	千田 武	織高 S46	繊維・有機材料協会
高野 文夫	化工 S51	高野 文夫	化工 S51	化学工学協会
前川 佳博	工化 S48	前川 佳博	工化 S48	応用分子化学協会
澤田 孚夫	機械 S40	澤田 孚夫	機械 S40	機械システム工学協会
竹村 淳	電子 H 3	竹村 淳	電子 H 3	電気電子工学協会
安田 義道	応物 S47	水野 隆司	応物 S46	応用物理学協会
王 大慶	情報院 H24	王 大慶	情報院 H24	情報工学協会
加藤 美治	MOT H21	加藤 美治	MOT H21	MOT 部会
二見 能資	生シ院 H14	二見 能資	生シ院 H14	BASE 部会
—	—	船田 良	連農 S63	連合農学協会

【別記6】理事・代議員の選任（交代）（案）

＜理事の交代＞

林産・生物資源工学協会	現理事の副会長推薦による交代	新理事 安藤 恵介（林産H2）
林学協会	現理事の退任による交代	新理事 難波 伸幸（林S49）
生産環境工学協会	現理事の副会長推薦による交代	新理事 東城 清秀（農工S54）
製糸・高分子・生命工学協会	現理事の副会長推薦による交代	新理事 大塚 克巳（製糸S45）
応用物理学協会	部会名変更に伴う理事の交代	新理事 安田 義道（応物S47）

＜代議員の交代＞

農学・生物生産学協会	現代議員の逝去による交代	新代議員 神田 修平（農S48）
林産・生物資源工学協会	現代議員の理事推薦による交代	新代議員 半 智史（環物院H18）
山口県支部	現代議員の他県異動による交代	新代議員 西山 貴史（応化H15）

【別記7】同窓会法人化の件

資料につきましては膨大な量になりますので、東京農工大学同窓会のホームページ（<http://www.tuat-dousoukai.org/>）に掲載いたします。

ご質問があれば、事務局長の池谷（TEL042-364-3328、メールアドレスinfo@tuat-dousoukai.jp.org）までお寄せください。

【別記8】 東京農工大学同窓会会則の一部変更 (案)

法人化に向けて、解散等の条項を加えるため、会則、第7章「会則の変更」を「会則の変更及び解散等」に変更。

第50条を以下のように新たに加える。

(本会の解散等)

第50条 本会は、次の各号により解散又は法人化等の改組をする。

- 一 総会出席者の3分の2以上の決議
- 二 その他法令で定められた事由

同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

同窓会役員等体制

会 長 (平成29・30年度) 能條 武夫 (織高S48)	副会長 (平成29・30年度) 板橋 久雄 (農S39) 安藤 俊幸 (蚕糸S49) 佐藤 令一 (植防S54) 柿内 久弥 (農化S54) 佐藤 敬一 (林産S56) 楊 宗興 (環保S54) 本山 芳裕 (林S48) 島田 清 (農工S48) 小池 伸介 (地生H13) 田谷 一善 (獣医S46) 草間 健一 (製糸S43) 千田 武 (織高S46) 高野 文夫 (化工S51) 前川 佳博 (工化S48) 澤田 孚夫 (機械S40) 竹村 淳 (電子H3) 水野 隆司 (応物S46) 王 大慶 (情報院H24) 加藤 美治 (MOT H21) 二見 能資 (生シ院H14) 船田 良 (連農S63)	常務理事 (平成28・29年度) 理 事 長 滝山 博志 (化工S62) 副理事長 千年 篤 (農S58) 総務部長 野村 義宏 (農化S59) 副部長 渡邊 敏行 (材料S61) 〃 馬場真知子 (林学院S51) 〃 斎藤美佳子 (工化H1) 経理部長 鈴木 創三 (農S47) 副部長 西澤 宇一 (機シスH12) 事業部長 渡辺 元 (獣医S54) 副部長 戸田 浩人 (林S59) 〃 夏 恒 (機シス工博H7) 〃 渡辺 直明 (林S51) 広報・情報部長 亀山 秀雄 (化工S48) 副部長 近江 正陽 (林産S60) 〃 村上 尚 (応化H12) 〃 野口 恵一 (材料H1) 〃 赤井 伸行 (環資H11) 〃 富永 洋一 (物生H7) 〃 水川 薫子 (環資H18)	監事 (平成28・29年度) 畑 泰之 (織工S37) 生原喜久雄 (林S41) 淵野雄二郎 (農S43) 事務局長 池谷 紀夫 (農S49)
---	--	--	--

同窓会支部長及び連絡員 (平成29年6月末日現在)

支部名	支部長名	連絡員名
北海道	宇野澤正美 (農工S46)	濱口 大志 (農工H2)
青 森	山館 昭夫 (林S52)	白石 一志 (農H4)
秋 田	野村 俊悦 (農S44)	吉田 育男 (植防H4)
岩 手	山田 互 (農S52)	藤原 哲雄 (農S60)
山 形	河野 詠 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)
宮 城	田畑 正紀 (林S55)	大類 清和 (林H2)
福 島	荒井 賢治 (農工S47)	高山伸之介 (地生H11)
茨 城	川村 重信 (養蚕S40)	藍原 伸夫 (蚕糸S59)
栃 木	村松梅太郎 (獣医S39)	南木 好樹 (農工S58)
群 馬	小野宇三郎 (織別S33)	影澤 圭太 (林産H3)
埼 玉	白井 久 (林S44)	阿部 徹 (林H4)
千 葉	前之園孝光 (獣医S44)	津金 胤昭 (応生H6)
東 京	馬場 信行 (林S35)	渡辺 彰 (農工S43)
神奈川	則武 宏一 (農工S41)	住吉 稔胤 (林S56)
新 潟	和唐 博恭 (製糸S44)	高橋 紀男 (農工S60)
富 山	林 繁利 (工化S39)	飯野 師 (地生H18)
石 川	北川 康一 (農工S46)	西山 宏 (環・資H6)
福 井	友田 慶一 (織工S42)	新海 隆介 (環・資H12)
山 梨	川口 忠男 (養蚕S41)	菊島 孝 (環保S63)
長 野	吉田 宮雄 (獣医S47)	江口 照壽 (農工H2)
岐 阜	安田 勝年 (製糸S42)	雨宮 功治 (植防S60)
静 岡	栗原 績 (農工S42)	石川 晴子 (地生H16)
愛 知	瀧上 紀吉 (機械S41)	水野銈一郎 (農S42)
三 重	古野 優 (獣医S60)	西野 実 (農H7)

支部名	支部長名	連絡員名
大 阪	佐々木良和 (農工S39)	乗藤 幹男 (電子H1)
京 都	西村 寿 (農工S50)	松井 崇 (農工S51)
滋 賀	勝田 謙次 (織化S34)	南井 隆 (林H1)
奈 良	太田 道明 (農工S42)	望月 昇 (化工S57)
和歌山	毛呂 眞 (林S41)	中村 純子 (環・資H6)
兵 庫	上坂 修一 (林産S54)	安德 剛志 (林S59)
岡 山	内藤 照章 (獣医S34)	谷 智仁 (林S61)
広 島	三宅 信行 (環保S55)	石田 一之 (機械S59)
山 口	松村 聡(代行) (工化S46)	岡本 賢一 (植防H4)
鳥 取	江原 宏昭 (農院S48)	門脇 互 (製糸S54)
鳥 根	桑本幸夫(代行) (林産S56)	松浦 史瑞 (林産H1)
香 川	岡崎 進 (獣医S38)	河野 幸彦 (林S63)
徳 島	長谷川 進 (化工S47)	小杉純一郎 (林S63)
高 知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)
愛 媛	鈴木 東義 (工化S39)	尾中 直道 (林H7)
福 岡	西田 晴二 (獣医S41)	白石 哲広 (林産S50)
佐 賀	御厨秀樹(代行) (植防S56)	御厨 秀樹 (植防S56)
長 崎	片岡 正登 (製糸S48)	古賀 淳士 (農S52)
熊 本	安尾 博徳 (農工S49)	小野亮太郎 (農S63)
大 分	津崎 繁義 (製糸S46)	古長 茂重 (林産S63)
宮 崎	金丸 隆一 (林産S48)	井之上英行 (農工H4)
鹿 児 島	上原 武志 (植防S42)	平 繁人 (養蚕S45)
沖 縄	城間 恒紀 (農化S42)	河口 哲也 (応生H6)
横 浜 会	児玉 満男 (製糸S34)	松島 稔 (製糸S37)

叙勲受章にあたり

【平成28年秋の叙勲】

原点は蚕飼い

鮎澤 光昭（養蚕S42）



平成28年秋の叙勲で、はからずしも瑞宝双光章の栄に浴し、昨年11月11日、皇居宮殿春秋の間において天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜り、感激のひと時でした。これも偏に永

年長野県職員として勤務できたおかげだと思ひ、大勢の皆様方の御指導、ご支援に感謝しております。

私が農工大に入学した昭和38年、養蚕学科が農学部へ改組された年で、農学部養蚕学科生として最初に受験し入学しました。当時養蚕学科の定員は20名でしたが、同期入学者は10名でした。卒業後大学院修士課程で学び、昭和44年茨城県庁へ就職しましたが、妻との出会いから長野県職員採用試験を再受験し、昭和46年より長野県職員として新天地で新たな生活をスタートさせました。

大学時代は学生運動が活発化する前のおだやかな時代でしたが、学内には学生運動がひそかに行われていた時代でした。当時学生運動を煽る先生と国分寺駅南口にあった居酒屋の二階で激論を交わしたことを思い出します。

研究室は諸星研究室を選択し、温度と光の化

性と眠性への影響の研究のため、毎日毎日蚕の飼育をしていました。実験途中で蚕が死んでしまい途方に暮れていた時、多くの先生方の助言や指導を受け、厳しい状況を乗り越えたことも沢山あり、そんな蚕を飼育した経験が、県職員となり養蚕農家指導の時に大いに役立ちました。

長野県職員となった最初の勤務地が上田市の蚕業試験場でした。自宅は岡谷市ですので別居となってしまいました。長野県は南北に長く、かつ交通の便もあまりよくなく、県職員の多くが通称土帰月来といわれる単身赴任生活を強いられますが、私も34年間の県職員生活の内18年間は単身赴任でした。

34年間の長野県職員勤務で27年間は蚕糸関係の仕事でした。当初は県庁と蚕業技術指導所で養蚕農家の所得向上対策を主にした技術指導を、後半は制度改正に伴う組織の改廃に取り組みました。特に蚕業技術指導所と農業改良普及所との統合に伴う職員の身分の安定や、繭検定所の廃止の時には職員の配置転換等困難な課題がありましたが、多くの皆様の理解を得てスムーズにできたことを思い出します。

退職前3年間、長野県が全国より注目されていた田中県政下で、農政部長として農政全般をみる機会を得ました。鳥インフルエンザ、コイヘルペス、BSE等緊急課題への対応や、食の安全・安心への取り組みをはじめ、後継者育成のための里親制度の確立、ワイン・日本酒での原産地呼称管理制度の設立等、今でも引き継がれている制度の立ち上げ

を大勢の同僚とできたことを思い出します。

一人ではできないことも大勢の仲間と考え、実行すれば成し遂げられるということは、大学の飼育室で蚕を何度も飼い、失敗し、指導や支援を受け、結果を出すことができた喜びを大勢の仲間と共有できた経験があったからと感じています。この度の叙勲の原点は蚕飼いにあったのかなと思い、改めて感謝申し上げます。

【平成28年春の叙勲】

研究生活の回顧

藤本大三郎（名誉教授）



昨春の叙勲に際しては、同窓会よりご丁寧な祝辞をいただきありがとうございます。またこのたび「農工通信」に寄稿の機会をいただき感謝しています。年寄りの昔話と自慢話はうんざりという声をよく聞くのですが、せっかくのチャンスなのでちょっとだけさせていただきます。

私は東京大学理学部化学科を卒業し大学院で生物化学を勉強してから、1961年に東京医科歯科大学医学部に就職しました。それから東京大学理学部、東北大学理学部、浜松医科大学医学部、東京農工大学農学部、そして定年後に東亜大学大学院といろいろな大学を渡り歩きました。この間にアメリカの3か所のラボに留学する機会を得ました。おかげで貴重な経験をすることができたと思うのですが、履歴書を書くとき長くなるのが難点です。ちなみにエリートの研究者は出身大学で助手・助教授・教授と昇任

していくので、履歴書は3行で済むそうです。

職場はいろいろ変えたのですが、主な研究テーマはずっと変わらず、コラーゲンの研究を続けてきました。コラーゲンというのは、皮膚や骨などの主成分で、重要なのですが“地味な”タンパク質です。私はその生合成や加齢変化、多様性や関連タンパク質などを研究しました。いろいろな実験を試みたのですが、なかなか思うようにはいかず失敗の連続でした。

東京農工大学で定年を迎えたときには、最終講義をやらなければなりません。そこで「私の研究失敗マニュアル」というタイトルで今までの研究の話をしました。これはグリーンネルという学者が書いた「研究成功マニュアル」という面白い本のパロディのつもりだったのですが、学生諸君にはちっとも受けませんでした。

それでも東京化学同人社が「科学のとびら」というシリーズの1冊として出版してくれるというので、この講義をもとに「コラーゲン物語」という本を書きました。

自分でもこんな本は売れるはずはないなと思っていました。ところが、折からコラーゲンが世間の注目を集めるようになったのです。「コラーゲンを飲むとお肌がプルプルンになる」という話が広まって、女性を中心にコラーゲンは人気の食材やサプリメントになり、コラーゲンブームといってもよい状況になりました。私の本もコラーゲンの健康・美容の本と間違えて買ってくれた人がいたのでしょう。ちょっと売れて版を重ねることができました。いやはや、世の中どんな風が吹くのかわからないものです。

年老いた今、振り返ってみると、いろいろなありましたが、すべて懐かしく思え、まあまあ幸せな研究人生だったなと思います。そしてこれも家族や先輩、同僚そして若い研究仲間のサポートがあったおかげだと、心から感謝しています。

【平成27年秋の叙勲】

旭日小綬章受章について

岩上 一紘 (獣医院S45)

平成27年11月11日皇居春秋の間にて、私はじめ大勢の叙勲者たちは天皇陛下の御成りを待っていました。静寂の中侍従を先導に陛下はお出ましになりお言葉を賜りました。間近に拝謁した陛下にはご高齢にもかかわらずただならぬ気品とオーラを感じました。自分がここに参列していることが不思議でしたが、これもひとえに今まで長きに渡り支えてくれた獣医師会と獣医師の仲間たち、役所の方々、関係する団体の方々等多くの人たちのお蔭と感謝の念が沸き起こりました。このことにつき同窓会事務局より農工通信への寄稿の依頼がありましたのでこの機会に自分を振り返りたいと存じます。

高校を卒業し他学部を志望していた私は父が小動物の開業をしていたこともあり、深い考えもなく取りあえず小動物診療を目指すことにし、帯広畜産大学獣医学科に入学し昭和43年になんとか卒業しました。当時帯広畜産大学では牛馬の臨床が中心で小動物を目指す者は極めて少数でした。自分を含め学生の約半数は寮生で、大学の周辺に遊ぶところも無く時間は十分にありましたので、寮生とは家族のような関係にあり活発に議論を合いました。部活や寮生活は楽しくあっという間に4年間は過ぎ、将来については漠然と開業でもすればと思っていましたが、卒業近くなるとそういうわけにもいかず初めて父に相談しました。当時の父の話では小動物臨床上の大問題はフィラリア症とのことでした。所属していた生理学教室の教授に相談したところ農工大学内科学教室の久米清治教授、大石勇助教授、小林茂雄先生の研究が世界の最先端であると教えて頂きました。父も農工大学獣医の出身で府中は母方

の実家で中学、高校時代を過ごしましたので迷うこと無く受験いたしました。大学院では久米、大石、小林先生の指導の下「フィラリア症の病態発生」研究がテーマでした。家畜病院の診療に携わりながら、大学院の先輩や家畜病院にこられた先輩方が結成された研究会に参加し、小動物臨床の原書をテキストに夜な夜な勉強させていただきアメリカとの差を痛感いたしました。この生活で小動物に対する考えなど私の診療スタイルが決まりました。2年間の修士課程を終え栃木県で父と共に臨床に携わりましたが田舎の為に診療より往診に時間が費やされました。2年間の研修後、宇都宮にて開業いたしました。当時は小動物専門病院も少なく大動物が主流で犬猫もほとんどが往診で、今では基本の避妊手術や帝王切開でもかなりの死亡例がありました。バブル期をへて海外の情報や小動物薬が増えレントゲンや検査機器が普及し始め当院も病院らしくなってきました。小動物に対する診療の姿勢も家族の一員で命あるものとして治療に当たるべきと、皆が同じ思いを持って畜主に接しないと獣医師の社会的向上は望めないとの考えから獣医師会活動に参加することにいたしました。平成2年理事に平成15年会長就任以来12年間務め、その間マイクロチップの普及、学校飼育動物への協力、公益法人への移行、新会館への移転など様々な事がありました。理事会にはかり実行しました。これらの事の評価の上でなされた受章ですので係わられた皆様を代表して頂いたと感謝しております。取り留めない内容になりましたがまだ道半ばこれから何が出来ますやら。では、また。



退職にあたり

農学研究院教授 石川 芳治



平成15年8月に京都府立大学より地域生態システム学科助教授として転任して参りました。在任期間は約14年と長いようで短い期間でしたが多くの優秀な学生、卓越した諸先生と巡り会え、多大なご協力やご支援をいただき、私としては満足のいく時間を過ごすことができました。教育面では多くの学生と卒論、修論、博士論文の調査研究を共に行え、貴重で楽しい時間を過ごすことができました。調査研究では、丹沢堂平におけるシカの食圧による林床植生の衰退に伴う土壌侵食、地表流流出に関する調査研究を約13年間続けることができました。毎年約30回現地調査を行ったことにより、山の自然の変化を身をもって感じることができ、また適度な運動を行うことができ、健康な体を保つにも大変役立ちました。このような貴重な時間と機会を与えて下さった皆様に心よりお礼申しあげます。最後に東京農工大学と同窓会のますますの発展をお祈り申しあげます。

農学研究院教授 岩淵 喜久男



昭和63年8月にサントリー株式会社基盤研究所より農学部応用昆虫学研究室の助手として赴任して参りました。それ以来、29年余りの間本学にお世話になりました。この間、農工大のたくさんの優秀な学生諸君の教育を担うことができたことを誇りに思います。このような機会を与えてくださった教職員の皆様

に感謝するとともに、学問を共有してくれた学生諸君に感謝致します。研究室では自由に研究をすることができました。おかげさまで中途半端ながらも面白い研究成果が出せてきたのではないかと思います。昆虫生理、細胞培養、寄生蜂等々、多様な研究テーマに手を出し、だれもやっていない面白い研究を目指してきました。なかでも多胚性寄生蜂の研究ではユニークな多くの新知見を得ることができました。研究指導や教育の出来ばえはともかく、巣立っていった学生は、職種も立場もいろいろですが、今では社会人として立派になってくれています。本学の益々の発展を祈念します。

農学研究院教授 植竹 照雄



昭和59年4月に一般教育部保健体育講師（当時）として着任し、以後さまざまな出来事を経て、平成29年3月に定年となり退職しました。32年間にわたり保健体育（現スポーツ健康科学）教員として教育と研究に従事したことになりますが、その間、関係者の皆様にはたいへんお世話になり心より感謝申し上げます。

着任早々に、各運動施設を視察したときの印象は今でも鮮明に覚えております。少し傾いた木造の武道場にはなんとも言えないレトロ感に、そして雑草で覆われしかも松の大木があるグラウンドには都内とは思えない牧歌的な雰囲気に、妙に親近感を覚えたものでした。

農工大学着任以前は筑波大学が勤務場所であったこともあり、運動施設の充実度の違いに愕然とするばかりでしたが、逆にその光景が私に重大な決心を促しました。その時まさに、私の

職責としての具体的な目標として、「学生に対しては可能なかぎりより良い運動施設を提供しよう」と心に誓ったものでした。

感謝

農工大学大学理事 教授 國見 裕久 (養蚕S48)



昭和62年4月1日に、東京農工大学農学部植物防疫学科に助手として着任して30年、本年3月31日で退職しました。今は、大過なく勤め上げることができてほっとした気持ちで一杯です。振り返ってみると、本学在職30年の内、15年半は連合農学研究科長、農学研究科長・農学部長、理事・副学長として管理業務に携わりました。平成13年に農学部の若手の教員に祭り上げられて、連合農学研究科長に選出されたことは、正に青天の霹靂の出来事でした。その後、15年半の長きにわたり管理職として円滑な組織運営ができましたことは、多くの教職員の皆様のご支援とご指導の賜物と、深く感謝しております。また、興味深い研究テーマにも恵まれ、多くの学生がこれらの課題に真剣に取り組んでくれました。研究室のスタッフや学生と厳しくも楽しい日々を過ごせたことが、何にも増して心に残っていることです。今後は一同窓生として、東京農工大学の発展に微力ながら尽力したいと思っています。

農工大学大学理事 教授 瀨瀬 明伯 (工化S47)



この度、3月末日を以て学術・研究担当理事を退任いたしました。平成22年度からの教育担当理事、続いて平成24年度からの学術・研究担当を無事に過ごすことができました。これもひとえに、皆様のお力添えのおかげ

と深く感謝申し上げます。

思えば、理事在任中の6年間は本学を含む国立大学法人にとって激動の時でした。(まだ、続いています!)国立大学の第一期中期目標期間後の第二期中期目標の実施、第三期中期目標の策定、および国立大学のミッションの再定義が行われました。さらに、国立大学の評価システムがさらに進化し、ついに、企業で用いられる評価指標が導入されました。一方、平成29年3月に出版された「Nature Index 2017 Japan」では、表紙のサブタイトルが「How long can Japan remain a science superpower?」と書かれ、本文では「日本の科学はこの10年で失速し、科学界のエリートとしての座を追われかねない」との警告がなされています。

この様な逆境の中でこそ農工大の真価が発揮され、研究大学としての地位の確立がなされるものと期待しています。同窓会員として、今後は「口は出さないでお金を出す」的な学生さんを含む大学の支援を行いたいと思います。

工学研究院教授 長岐 滋



平成11年4月に機械システム工学科教授として着任して18年が経ち、本年3月に定年退職いたしました。前任地の岡山大学を含めると大学教員として38年間を過ごしてきましたが、この間、自分が面白いと思ったことを研究し続けることができるという幸せをおかげさまで享受できました。また研究室には毎年新しく学生諸君がやってきて、彼らから新たな刺激を受けることができたのも大学教員として大きな幸せでした。おかげで変態塑性や多孔質体の構成式に関して多少の成果は出せたのではと思っています。一方で研究・教育を通じて私自身が感じていた固体の力学の面白さをどれだけ学生諸君に伝えることができたかどうかと、反省することしきりです。言葉を変えれば「知の

創造と継承」を行えるのが大学という場であるとするなら、そこに自分はどこまで貢献できたのだろうか。

今後も本学がますます発展されることをお祈りいたします。

学術研究支援総合センター教授 丹生谷 博



1995年4月に国立がんセンター研究所から遺伝子実験施設に転任しました。2008年に、遺伝子実験施設は機器分析施設と統合し、「学術研究支援総合センター」という新たな全学施設となり、学内設備の共同利用促進を目的とした設備サポート室も併設されています。施設には分子生物学研究に必要な最新設備がありますので、研究開発に携わる卒業生の皆様には、どうぞ学外利用（有料）をご検討下さい。

全学施設専任教員として、農学部固有の委員会活動に貢献することは少なかったですが、放射線安全管理や遺伝子組換え生物、病原微生物等の安全管理を担当する全学委員会において、規則制定・改正等に継続的に協力することができました。さて、私は4月から早稲田大学の任期付き講師として新たな教員生活を始めました。自宅の八王子から府中までは「ゆるい通勤」でしたが、今では毎日満員電車通勤となり、体力・気力をいつまでも保ちたいものです。

国際センター教授 馬場 眞知子（林学院S51）

1999年8月に本学の国際センター（旧留学生センター）に着任しました。私は農工大の修士課程を修了しましたが、諸般の事情で日本語及び日本事情教育を行う国際センターの教員となり、お陰様で足掛け18年勤めさせていただき

ました。教育の面では大学のグローバル化を目指し、特に留学生と日本人学生の交流を通じた日本語教育・国際理解教育に力を入れてきました。グローバル化というと英語を連想されることと思います。確かに世界の共通語として英語教育は重要ですが、日本に来る留学生は学問的な関心もさることながら日本自体への大きな興味を持って来日します。日本文化や日本語への関心が高い彼らを親日家として育てることも目標の一つだと考えてきました。また、日本人学生においては、理系であっても自文化である日本の社会や文化、日本語への関心や理解を持ち、本当の意味でのグローバル人材として巣立っていくことが肝要だと考えてきました。このような視点からの教育が進めば、本学がさらに素晴らしい大学になることと思います。今後とも陰ながら農工大を応援させていただきます。ありがとうございました。

保健管理センター教授 早川 東作



平成4年12月に国立精神・神経センター武蔵病院（当時）より保健管理センターカウンセラー、助教授として本学に着任、所長として退職するまで25年間、お世話になりました。前職の院長から留学していた後任が帰国するまで転任しないよう要請され、何とか1か月併任で着任できたこと、農学部教授会で専攻は大学受験浪人のメンタルヘルスです、と自己紹介したら爆笑されたこと、精神科仲間から白衣を脱ぐのかと覚悟を問われたことなどが思い出されます。元々25歳で大学院（保健学）を中退して医学部を再受験した理由が、精神衛生学や家族療法は医師の方がやりやすい（その時代）と考えたからでしたし、大学のカウンセラーは精神療法や目指していた学校精神保健の実践場となるに違いなく、まったく躊躇はありませんでした。あの時の決断が正しかったとあ

らためて思えます。皆さんから頂いた元気と癒しに感謝申し上げます。

国際センター教授 御園生 保子

昭和62年（1987年）に農学部講師（一般教育部）「日本語」担当として12月1日着任。平成6年（1994年）に新設された留学生センターに配置換え、平成19年（2007年）に国際センターに配置換えとなり、研究室も府中キャンパスから小金井キャンパスに移りました。退職するまで29年お世話になりました。ありがとうございました。

「外国人とは英語でなければ通じない」と思いがちですが、かんたんな日本語でもちゃんぽんでも案外通じます。大学院留学生は勉強したわずかな日本語を駆使して通じさせています。少しでも日本語ができる留学生は日本語でネットワークを作り研究室の内外で支援を得て、研究・生活ともにうまくいく傾向があります。日本語学習が大きな支援になっているのです。最近はだれが留学生か日本人かわからないような人達が英語、日本語、中国語、ちゃんぽんなど、各自できる言葉で楽しそうに話している姿をみるようになりました。農工大の国際交流がますます盛んになることをお祈りしています。

国際教養大学の理工系版

工学研究院教授 守 一雄



私は教職課程の専任教員でしたが、毎年4月の教職課程ガイダンスでは「大学を辞めて外国のUniversityに入りなおすよう」新生たちに勧めてきました。憧れの大学に入ったばかりの新生たちは驚いていましたが、それでも誰も大学を辞めた様子もなく、「変わり者の教員によるジョーク」と思われていたようです。

明治維新政府が先進国に追いつくために欧米のUniversityを模して作った日本の大学は「模造品」のままで、140年経ってもUniversityにはなれませんでした。それでも、多くの日本の大学でもノーベル賞級の研究はできたし、産業の発展を支える多くの人材を輩出してもきました。

しかし、いつまでもゴマカシが通用するわけにはいきません。私が東京農工大学に在籍したこの10年間は日本の大学の限界が私のような者にも見えるようになった時期でした。規模から考えても農工大が東大を超えることはできないでしょう。しかし、東大より先に完全英語化をすることはできると思います。少数精鋭型の東京農工大学はUniversityよりも“国際教養大学の理工系版”を目指すのがいいのではないのでしょうか。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成30年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

農学研究院 片山 葉子 教授
工学研究院 須田 良幸 教授
工学研究院 山田 晃 教授

（氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです）

平成28年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業では、在学生（準会員）の学会発表、コンテスト・コンクールへの出場、優秀卒業論文、種々の課外活動、学園祭に対して「同窓会研究課外活動奨励賞」および副賞を授与しています。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成28年度の援助金総額は6,158,360円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようお願い申し上げます。

事項	件数	金額
学会発表 <参加・出場>	549名	2,745,000円
学会発表 <入賞>	80名	800,000円
コンテスト・コンクール <出場>	8名・24団体	280,000円
国際大会出場	1名・1団体 (2名)	15,000円
コンテスト・コンクール <入賞> (国際大会含)	4名・8団体	120,000円
学会誌・論文誌発表	3名	60,000円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 <学園祭>	1件	100,000円
課外活動 <サークル活動>	22件	1,010,000円
課外活動 <サークルリーダートレーニング>	1件	50,000円
キャリア・アドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,680名	758,360円
合計		6,158,360円

※詳細については、同窓会ホームページ(<http://tuat-dousoukai.org/guide/student.html>)をご覧ください

＝平成28年度「同窓会研究課外活動奨励賞」受賞者のコメント＝

農学部共同獣医学科6年 古村 みゆきさん
(第159回日本獣医学会学術集会「第7回微生物学分科会若手奨励賞」受賞)

この度、日本獣医学会にて「サルとヒトの犬ジステンパーウイルスへの感受性の違いを決める受容体上のアミノ酸置換の同定」というタイトルで発表し、微生物学分科会から若手奨励賞をいただきました。同窓会から自分の発表内容を高く評価していただき、このようにして感謝の意を述べる機会をいただいたこと、大変嬉しく思います。この度はご支援どうもありがとうございました。

今回の学会発表は私にとっては初めてのものでしたので不安も多かったのですが、同窓会からのご支援が励みになり今回の受賞につながったと感じております。

今後とも研究活動に邁進してまいりますので、引き続きご支援ご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。



工学部機械システム工学科3年 鎌田 陽さん
(第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト飛行競技(ユニークデザイン部門) 第2位 新日鐵住金賞受賞)

この度、第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテストにおいて、機体の自重の1.5倍のペイロードを搭載可能な飛行ロボットを製作し、ユニークデザイン部門に出場して部門2位となり、新日鐵住金賞をいただきました。その成果により、同窓会の学生援助をいただき、またその際、身に余る評価をいただきまして、この場へのコメントを掲載させていただくこととなりました。今回のことは、これまで積み重ねてきた経験や技術が評価され、非常に嬉しく感じております。今後も、これを励みに、ご支援に恥じないよう精力的に活動してまいりたいと思います。



第59回 農工祭

11月10日(金)～12日(日)開催!

詳しくは [東京農工大学 農工祭](#)

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好部会・クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧下さい。

部会だより

獣医学部会総会



日 時 平成28年7月2日(土)
 開催場所 府中キャンパス2号館21号教室
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事
 参加人数 35名
 実施事項 部会総会、研究講演会、懇親会
 幹事・報告者 渡辺 元(獣医S54)

<幹事のコメント>

獣医学部会では毎年総会を開催しており、合わせて研究講演会を実施している。常任幹事会で講演者の選定には毎年苦勞しているが、同窓の皆さんが興味を持ちそうな話題を選び、在校生も参加して現役とOBの繋がる機会になることも考えて、講師を選定している。幸い卒業生が臨床、行政、企業、研究、教育など様々な分野で活躍しており、来年度からは岩手大学との共同獣医学科の卒業生が加わることになるので、さらなる活性化を考えている。

農学・生物生産学部会総会



日 時 平成28年11月26日(土)
 開催場所 農学部本館講堂
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 32名
 実施事項 総会、講演会
 幹事・報告者 大川 泰一郎(農S62)

<幹事のコメント>

- (1) 総会：板橋部会長の挨拶、来賓の鈴木同窓会理事の同窓会法人化案の説明の後、千年幹事から平成26・27年度の収支決算・監査が報告され、承認された。次年度の計画として稲塚権次郎氏の小麦農林10号に関わる映画「NORINTEN」の上映を同窓生および学生向けに行うことが承認された。
- (2) 講演会：青木隆夫氏の「農産物の直売の発展と都市農業」および安達俊輔氏の「グローバル化を目指す農工大一その一員として」が講演された。
- (3) 懇親会：畑中元同窓会長の乾杯に始まり、終始和やかに会員諸氏が懇談され、米寿の小島氏の挨拶、来賓の梶井元学長・名誉顧問のお話の後、神田前会計監事の締めで、目出度く御披露喜(お開き)となった。

林学部会総会



日 時 平成28年12月17日(土)
 開催場所 50周年記念ホール
 派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
 参加人数 23名
 実施事項 総会、講演会、懇親会
 幹事・報告者 渡辺 直明(林S51)

<幹事のコメント>

総会では役員改選のほか、同窓会の法人化への部会としての対応、会員のメールアドレス収集などについて情報の周知と議論をした。特別講演会では「ニュージーランドの林業・林産業：現地在住コンサルタントから見たその概要、現状と課題」という題で松木法生氏(林H5)により、膨大な資料を用いて予定時間を超える熱いプレゼンテーションが行われた。

応用物理学部会総会



日 時 平成29年3月4日(土)
 開催場所 エリブス3F 多目的ホール
 参加人数 29名
 実施事項 総会:1.部会名の変更 2.部会組織への改組 3.新役員を選出 4.期幹事を選出 5.会則の全面改訂 6.会計報告 7.創立50周年記念行事の実施 8.メール会報発行の取り組み 9.懇親会
 幹事・報告者 水野 隆司(応物S46)

<幹事のコメント>

部会役員が会社で管理職になって、同窓会活動にあまり時間を割くことが難しくなったり、平成元年の学部改組で学科が行方不明になったりして、永く部会活動が低迷しました。リタイアした役員経験のある古生代達が学科創立50周年になる平成29年度に記念行事を行い、部会活動を再興しようと集まりました。平成27年10月より再興有志者会議を13回持ちまして、この度久しぶりに総会を開きました。次は平成29年11月開催の記念行事に向けてキックオフです。

次世代の役員候補達がスタメンです。実行委員ガンバレ!

支部だより

北海道 支部



日 時 平成28年10月1日(土)
 開催場所 KKRホテル札幌
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 16名
 実施事項 北大植物園見学、総会、「母校の現状」ミニ講演会、懇親会
 幹事・報告者 濱口 大志(農工H2)

<幹事のコメント>

総会前に前支部長の長谷川北大名誉教授の案内による北大植物園の見学会を企画し、幸いにも天候にも恵まれてとても充実した見学会となりました。

総会では、本年度試行的に実施した支部会員とインターンシップで来道中の在校生との懇談会の成果や課題などの報告も行われ、今後さらに若手同窓会員の参加に繋がる取り組みを進めていくこととなりました。また鈴木先生から、「母校の現状」についての紹介、「ミニ講演会」として土壌の肥沃度などに関するご講演を頂きましたが、ユーモアを交えながらのお話に会員皆引き込まれておりました。

懇親会では、近況報告など、楽しいスピーチに沸き、最後はなつかしい寮歌、学歌を皆で熱唱して次回総会での再会を約束し、盛会のうちに幕を閉じました。

秋田県 支部



日 時 平成28年12月10日(土)
 開催場所 協働大町ビル
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 18名
 実施事項 亀山理事特別講演「ものづくり技術と農業・農村の振興」、支部会員が携わっている地域活性化の取組に関する報告および意見交換
 幹事・報告者 吉田 育男(植防H4)

<幹事のコメント>

これまで本県では、総会前にミニ講演会として、本部から派遣いただいた理事のお話を伺う機会はありましたが、本格的な講演会としての実施は今回が初めての試みでした。亀山先生からは、再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消についてご教示頂き、支部会員の熱意溢れる活動報告とあわせ、今後、秋田が元気になる素材が身近なところにもたくさんあることに気づかされる大変有意義な会となりました。亀山先生の、まずは「ありたい姿を描く」とのフレーズが印象的でした。

宮城県 支部



日 時 平成28年7月16日(土)
 開催場所 ホテル白萩
 派遣理事名 富永 洋一 常務理事
 参加人数 24名
 実施事項 支部総会、講演会、懇親会
 幹事・報告者 大類 清和(林H2)

<幹事のコメント>

東日本大震災から既に5年を経過しましたが、復興をさらに推し進めるべく、今年も盛大に支部総会を開催することができました。

今回の総会は、常連会員が中心の出席でしたが、馴染みの会員同士ならではの終始賑やかな会となりました。

議事終了後、富永洋一准教授より、大学の近況や固体高分子電解質に係るご専門の講演をいただき、会員からは活発な質問が出されました。その後の懇親会ではあちこちで歓声が上がリ、あっという間に所定の時間が過ぎてしまい、その余韻を引きずりながら、多くの会員が2次会へ流れるという、とても熱い一日となりました。

福島県 支部



日 時 平成28年7月9日(土)
 開催場所 パーティーホール「フロンティア」
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 38名
 実施事項 平成27年度事業報告、平成28年度事業計画の承認、役員改選
 幹事・報告者 三森 裕(生産H13)

<幹事のコメント>

議事に入る前に支部事務局に連絡があった物故者(渡邊弘文氏、永倉治氏)に黙とうを捧げました。

総会では、平成27年度事業報告並びに平成28年度事業計画が満場一致で了承されました。役員改選については、前年と同様の体制にて了承されました。

総会後は、恒例の懇親会を開催し、野口准教授から母校の近況や、大学の目指す姿等についてご紹介をいただきました。また、河田明芳氏(養蚕S45)目黒友氏(養蚕S53)による余興もあり、大いに盛り上がりました。さらに、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気での進行しました。会の閉めは、荒井支部長(農工S47)の万歳三唱により行い、参加者の面々は来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

群馬県 支部



日 時 平成28年10月22日(土)
 開催場所 ホテル ラシーネ新前橋 秋桜の間
 派遣理事名 千年 篤 常務理事
 参加人数 23名
 実施事項 事業報告及び計画、派遣理事による講演会
 幹事・報告者 唐澤 道央(生産H7)

<幹事のコメント>

活動を再開して、今回で5回目となります。今回も、後援会と懇親会の二本立てで構成し、来賓の千年先生には、本学同窓会の近況についてご紹介いただきました。

昭和18年農学卒の登坂先輩を筆頭に、多くの同窓生に参加いただき、盛会に開催することができました。在学時の思い出や仕事や家庭のことに花を咲かせる方々、養蚕県である本県らしく世界遺産となった富岡製糸場にまつわる話、林業関係者のOBの皆さんは、尾瀬や登山などの話題で盛り上がっていました。

引き続き、小野支部長を中心に、会を盛り上げて参りたいと思います。

埼玉県支部



日 時 平成28年7月23日(土)
 開催場所 パイオランドホテル
 派遣理事名 千年 篤 常務理事
 参加人数 20名
 実施事項 平成28年度総会及び懇親会
 幹事・報告者 阿部 徹(林H4)

<幹事のコメント>

総会では、平成27年度事業報告並びに決算報告、平成28年度事業計画並びに予算案について審議され承認されました。
 総会終了後の懇親会では、千年先生にプロジェクターで大学の近況を詳しく御説明いただきました。時代とともに変わっていく大学の姿に感慨にふけるとともに、懐かしい学生生活の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

千葉県支部



日 時 平成28年11月12日(土)
 開催場所 CHIBA SKY WINDOWS 東天紅
 派遣理事名 淵野 雄二郎 監事
 参加人数 86名
 実施事項 平成26、27年度事業活動報告及び会計報告、平成28、29年度事業活動方針及び予算(案)の検討、規約の改正、役員の改正、淵野雄二郎先生による講演、懇親会
 幹事・報告者 津金 胤昭(応生H6)

<幹事のコメント>

千葉県支部では、2年ぶりの支部総会を開催しました。淵野雄二郎先生にご臨席いただくとともに、20代30代の若い会員を含めて86名の参加があり、盛大な総会となりました。
 総会では、前之園新支部長をはじめ35名の役員や次年度以降の事業計画が承認されました。懇親会では、大学時代の思い出話や近況報告に盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

神奈川県支部



日 時 平成28年9月24日(土)
 開催場所 フォーラム246
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 24名
 実施事項 平成28年度総会及び懇親会
 幹事・報告者 住吉 稔胤(林S56)

<幹事のコメント>

昨年と同様、伊勢原市のフォーラム246にて神奈川県支部総会を開催しました。

総会では会計報告等の承認に続き、来賓の亀山常務理事から講演をいただきました。引き続き懇親会に移り、参加者の自己紹介、近況報告などを行いました。

また、一昨年県支部50周年記念で大学構内に仮植したハナモモを定植できたことを報告し、盛況のうちに終えることができました。

新潟県支部



日 時 平成28年6月3日(金)
 開催場所 レコルタカーブドッチ
 参加人数 21名
 実施事項 支部総会
 幹事・報告者 高橋 紀男(農工S60)

<幹事のコメント>

和唐支部長への新たな役員体制が承認され、2期務め退任される佐藤支部長と星野副支部長へ本部からの感謝状が渡されました。

その後の懇親会では、世代を超え母校での思い出や旧友のことなどに花を咲かせ、大いに盛り上がりました。

富山県支部



日 時 平成29年3月18日(土)
 開催場所 日本橋 俵屋(富山市牛島町)
 派遣理事名 西澤 宇一 常務理事
 参加人数 11名
 実施事項 総会及び親睦会
 幹事・報告者 飯野 師(地生H18)

<幹事のコメント>

会場は富山駅周辺を一望できる絶景も楽しめるため、開始時間まで参加者同士で富山駅周辺の変貌や思い出について語り合っておられました。

総会では、決算報告承認が議決された他、西澤先生から農工大学の近況を映像や画像で視覚的にご紹介頂き、母校の幅広い活動と効果に刺激の多い時間でした。

懇親会でも、互いの近況を含めた多種多様な話題で大変盛り上がった懇談となりました。

近年若い世代の参加も増えており、今後も幅広い世代からの参加していただけるよう工夫してまいります。

山梨県支部



日 時 平成28年11月13日(日)
 開催場所 東京農工大学農学部キャンパス
 参加人数 11名
 実施事項 農工大訪問ツアー
 幹事・報告者 依田 健人(製糸S57)

<幹事のコメント>

山梨県支部では、独自行事として「第1回ホームカミングデー」に11名が参加しました。

3月に開催された支部総会で「久しぶりに大学を見てみたい」との意見が出され、支部としての見学ツアーを検討していたことから、ジャストフィットの行事となりました。

当日は、甲府駅から中央本線で国分寺駅に向かい、午後2時頃に学園祭で賑わう農学部キャンパスに到着しました。式典では、松永学長と草野同窓会長から大学や同窓会の近況についての説明があり、現在の農工大の姿やポジション、学生気質、卒業生の業績など、農工大に関する幅広い情報を得ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。偶然にも正門前で、松永学長と草野同窓会長にお会いし、お二方と一緒に記念写真を撮影することができました。

岐阜県支部



日 時 平成28年6月5日(日)

開催場所 ホテルリソル岐阜

派遣理事名 西澤 宇一 常務理事

参加人数 13名

実施事項 事業報告、会計報告、役員改選、懇談会

幹事・報告者 雨宮 功治(植防S60)

<幹事のコメント>

隔年開催としている総会を、西澤先生を迎え市内のホテルリソル岐阜で開催し、昭和35年卒から平成27年卒まで幅広い年代の参加がありました。

安田支部長のあいさつの後、西澤先生による大学の近況や先生御自身の研究内容の説明があり、会員が興味深く傾聴していました。

懇談会では、松井敏雄(林学S35)さんの乾杯に始まり、世代や学科を超えた話題で盛り上がりしました。最後は紅一点参加の箕浦芽衣(地域生態H12)さんによる一本締めで終了し、2年後の再会を約束しました。

静岡県支部



日 時 平成29年3月11日(土)

開催場所 クーポール会館

派遣理事名 赤井 伸行 常務理事

参加人数 41名

実施事項 総会：平成28年事業報告及び平成29年事業計画承認、同窓生による講演会

幹事・報告者 石川 晴子(地域生態H16)

<幹事のコメント>

卒業したばかりの後輩から、米寿を迎えた先輩まで、幅広い年代の方に参加していただきました。講演会では、メーカーに勤務する先輩が、海外での拠点立ち上げについて話してくださいましたので、普段は聞けないお話をたくさん聞くことができました。

懇親会では、グリークラブ出身の先輩を筆頭に、みなさんで校歌を合唱しました。幹事は少し大変ですが、来年の開催も楽しみです。

愛知県支部

日 時 平成28年11月26日(土)

開催場所 名古屋市「百楽」

派遣理事名 西澤 宇一 常務理事

参加人数 36名

実施事項 平成28年度東京農工大学同窓会愛知県支部総会・懇親会

幹事・報告者 水野 銈一郎(農S42)

<幹事のコメント>

最近隔年で実施している支部総会は参加者が減少傾向でしたが、今回は大勢の参加となりました。従来は農学部出身が大部分を占めていたが、大逆転となり、工学部出身の方が多く参加するという奇跡が生まれました。トヨタ自動車関連企業の方々に多く参加していただき、時代の先端をいく、自動車産業の果てしない未来の話題で一杯でした。もちろん、伝統ある農学系の話題も多く出て、どうも、これからの時代は農学部、工学部と分けて考えるのは終焉を迎えているような雰囲気であった。

三重県支部



日 時 平成28年9月11日(日)

開催場所 新玉亭 三重県津市

派遣理事名 赤井 伸行 常務理事

参加人数 13名

実施事項 本部総会報告・役員改選・大学の近況報告および研究内容の紹介・懇親会

幹事・報告者 西野 実(生産H7)

<幹事のコメント>

本年も「新玉亭」にて三重県支部の総会と懇親会を開催しました。参加人数は13名と昨年並みでしたが、續葛修一(織工S33)さんと、山岡千鶴(生産H24)さんに初めて参加いただきました。

赤井先生からは、大学の紹介とともに、研究内容についてご紹介いただきました。ありがとうございました。懇親会も盛況のうちに終えることができました。

京都府支部



日 時 平成28年9月10日(土)

開催場所 祇園四条肉処・りゅう庵

派遣理事名 鈴木 創三 常務理事

参加人数 17名

実施事項 総会・交流会

幹事・報告者 平野 孝志(農工S53)

<幹事のコメント>

支部活動を再開して7回目となる今年は、総会では西村寿支部長(農工S50)のあいさつに続いて鈴木常務理事から祝辞をいただき、会計報告を承認しました。

今年は鴨川が目の前に流れる同窓生・野上竜馬(機シH19)氏が経営する焼き肉専門店「りゅう庵」をお借りしての開催となりました。また農工大学の芋で造った焼酎「賞典禄」も提供され、出席者からは口々に「おいしい」「うまい」の連続で、最高級和牛に舌鼓を打ちながら豪華な雰囲気の中、鈴木常務理事から大学の近況、輝かしい歴史と活躍、法人化への取り組みなどのご報告をいただき、母校の躍進に目を細めながらたいへん盛り上がった会となりました。

和歌山 県支部



日 時 平成29年1月29日(日)
 開催場所 銀平本店(和歌山市)
 参加人数 16名
 幹事・報告者 中村 純子(林H6)

<幹事のコメント>

大勢の皆さんにお集まりいただき、ありがとうございました。新しい会員さんとの出会いもあり、大変有意義な集まりとなりました。

写真: 山本亜紀子 中尾俊二 辻和信 村瀬美美 木下剛司 神地康弘 藤原洋美 片山眞之 楠茂樹 城戸杉生 中村剛二郎 島田恒平 上西正悟 山田亨 中村純子 毛呂眞

兵庫 県支部



日 時 平成28年7月2日(土)
 開催場所 三宮ターミナルホテル
 派遣理事名 赤井 伸行 常務理事
 参加人数 26名
 実施事項 総会及び懇親会
 幹事・報告者 安徳 剛志(林S59)

<幹事のコメント>

昭和30年~平成11年卒業の卒業生が集まり、和やかなひとときを過ごしました。

岡山 県支部



日 時 平成29年8月6日(土)
 開催場所 ビュアリティまきび
 派遣理事名 渡邊 敏行 常務理事
 参加人数 13名
 実施事項 総会議事、講演会、講話等
 幹事・報告者 谷 智仁(林S61)

<幹事のコメント>

岡山県支部では、例年8月上旬に総会を開催しております。今年度は、岡山市北区下石井にある「ビュアリティまきび」で会員13名の参加のもと開催しました。まずは、講演会として岡山県職員から「オランダの農業の今・昔」をテーマにして頂き、渡邊敏行先生からは母校の近況等のご説明を受けました。その後、総会議事を経て、懇親会では参加者相互の近況交換等を行い、楽しい一時を過ごすことができました。

広島 県支部



日 時 平成29年2月18日(土)
 開催場所 メルパルク広島
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 23名
 実施事項 支部総会(活動報告・会計報告・役員改選)
 懇親会(自己紹介・理事講演・歓談)
 幹事・報告者 石田 一之(機械S59)

<幹事のコメント>

今年から幹事交代し、メール案内、Facebook掲載等を試み、若手の参加者を獲得しました。久々に20名を超える支部総会が開催できて、皆様に感謝しています。

総会では、6年間務められてきた藤本修身支部長から三宅信行支部長への交代を全員拍手で承認しました。

懇親会では、最初に全員で挨拶と握手を行いました。亀山先生から「ダサイ農工大のイメージから、誇らしい農工大へ」という興味深いお話をして頂き、出席者全員がとてもうれしい気持ちになりました。

最後は、幹事が「広島県支部の発展と出席者の健康を祈念して」一本締めを行い楽しい会を終了しました。

山口 県支部



日 時 平成28年7月17日(日)
 開催場所 紫水園(周南市)
 派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
 参加人数 11名
 実施事項 ミニ講演会、支部総会
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

<幹事のコメント>

今回は、周南市の西端に位置する湯野温泉での開催となりました。渡辺先生によるミニ講演会では、樹木医の仕事についてわかりやすく教えていただきました。

講演会後は御当地名物の温泉を堪能しました。温泉に浸かり、のどが渇いたところで支部総会、いやいや、我慢できずに懇親会に突入、のどを潤しながらの総会となりました。

渡辺先生をはじめ、集まった支部会員の方にも満足していただけたと思います。

参集メンバーが固定化された感が否めない当支部ですが(敬老会と化しつつあります)、来年も元気に再会したいと思います。

香川 県支部



日 時 平成28年10月22日(土)
 開催場所 リーガホテル ゼスト高松
 派遣理事名 淵野 雄二郎 監事
 参加人数 16名
 実施事項 第16回支部総会、講演会
 幹事・報告者 岡崎 進(獣医S38)

<幹事のコメント>

淵野先生から大学の近況や府中に新しい寮が出来たこと、また同窓会の法人化が検討されていること等お話を頂き、参加者の中には卒業以来一度も行っていないので機会があれば行ってみたいと懐かしむ声もありました。

参加者は16名で近年では一番の集まりになりました。内訳は工学部、農学部ようやく半々にまでこぎつけました。平成の卒業者が5名と若い人の参加も増えて嬉しい傾向です。参加者から就職戦線は売り手市場となり、新卒の採用がなかなか難しいとの声もあって、各企業に頑張ってもらい多くの同窓会の仲間が増えたら良いと願いつつホテルから「もう終了の時間です」と催促され名残を惜しみながら再会を約し閉会しました。

徳島県支部



日 時 平成28年11月19日(土)
 開催場所 つるべ寿司(徳島市南新町)
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事
 参加人数 8名
 実施事項 収支報告 近況報告 懇親会
 幹事・報告者 小杉 純一郎(林S63)

<幹事のコメント>

本部から野村先生に来ていただき、最近の大学の様子を教えてくださいました。参加された方々は農学部と工学部がちょうど半々で、懇親会では違う分野のいろいろな話題をうかがうことができ、話が弾みました。先生や参加された皆さんのおかげで楽しく有意義な同窓会になりました。

愛媛県支部



日 時 平成29年2月25日(土)
 開催場所 ネストホテル松山
 派遣理事名 西澤 宇一 常務理事
 参加人数 15名
 実施事項 支部運営報告、本部同窓会報告、支部会計及び監査報告、役員改選
 幹事・報告者 尾中 直道(林学H7)

<幹事のコメント>

前回総会から2年間の支部活動として、農工通信への寄稿、門屋一臣顧問の瑞宝章受章などの報告があった。役員については、若返りを進めてはという意見があったが、人選には時間を要することから、次期については現体制を維持することとなった。

総会は、西澤先生の母校近況報告、各自の近況報告などを交え、終始和やかな雰囲気となった。門屋顧問の受章記念講演では、門屋顧問の研究・発見が、みかんどころの愛媛に多大な貢献をしたことが分かり、改めてその功績に感銘を受けた。

同窓会は、世代を超えてのため初参加はハードルが高いようだが、一度参加すると同窓の繋がり「楽しさ」を感じることができる。2年後の同窓会には、今回以上の参加者となることを願い散会した。

福岡県支部



日 時 平成28年11月26日(土)
 開催場所 平和楼天神本店(福岡市)
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事
 参加人数 17名
 実施事項 県支部総会議事(支部会則改正、会計報告、役員改選) 講話
 幹事・報告者 青木 浩司(林S59)

<幹事のコメント>

当日は、西田支部長(獣医S41)の挨拶、議事に続き、渡辺教授から「ホルモンでわかること」と題したミニ講演、また最近の母校の様子についてお話し頂きました。以前の榊寮の4人部屋とは隔世の感のあるワンルームマンションのような学生寮の建設など、皆さん驚きの声が上がっていました。乾杯の後、各人から学生時代の懐かしい話や近況報告がありました。なかでも御年90歳を超える中野大先輩(養実S23)の元気なお話に自然に拍手が起こり、長野先輩(獣医S44)からは榊寮の一期生として卒業証書もらった話が披露され、最も若い平島君(生産H13)からの「県支部活動を盛り上げていきたい」との頼もしい話で締めくくられました。

熊本県支部



日 時 平成28年11月12日(土)
 開催場所 ネストホテル熊本
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 25名
 実施事項 平成27年度熊本県支部会計及び総会報告
 会員の動き(物故者への黙とう)
 熊本地震による会員の被害状況報告と義援金について
 幹事・報告者 小野 亮太郎(農S63)

<幹事のコメント>

本年の総会は熊本地震により開催が危ぶまれていましたが、同窓会皆様からの温かいご支援により、無事開催することができました。

出席者は25名とやや少ない状況でしたが、出席された方々は皆お元気で、盛況な総会、懇親会となりました。

出席された多くの会員の自宅も全壊、半壊など甚大な被害を受けていたのですが、1年半ぶりの再会で、同窓会は皆元気で笑い声で包まれていました。

野口先生から、現在の農工大学の概要や文科省の取り組み等について、農工大の近況を詳しく紹介していただきました。会員皆懐かしい大学の話題や、新しい情報に触れることができ、喜ばれていました。

来年もまた多くの県支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

宮崎県支部



日 時 平成29年3月4日(土)
 開催場所 ホテルメリージュ「マンダリン」
 派遣理事名 富永 洋一 常務理事
 参加人数 21名
 実施事項 支部長選出
 平成28年度実績及び会計報告、平成29年度計画及び収支予算案
 幹事・報告者 井之上 英行(農工H4)

<幹事のコメント>

総会では「新支部長選出案」「平成28年度実績及び会計報告案」「平成29年度計画及び収支予算案」が承認されました。
 また、工学部の富永先生にお越しいただいて同窓会や大学の近況等について貴重なお話しをしていただきました。会員は大変興味深くお話しを聴かせていただきました。会員は大変興味深くお話しを聴かせていただきました。会員は大変興味深くお話しを聴かせていただきました。
 その後は、会員近況報告や富永先生が宮崎のご出身ということで大変盛り上がった同窓会となりました。

鹿児島
 県支部



日 時 平成28年11月19日(土)
 開催場所 和創亭 くら蔵
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 10名
 実施事項 平成27年度事業実績及び収支決算について、28年度事業計画及び収支予算について、交流会
 幹事・報告者 平 繁人(蚕養S45)

<幹事のコメント>

例年になく暑い日でしたが、精鋭9名の中には新規参加者もあり、今後の支部盛り上がり期待させる会となりました。
 総会では、上原支部長挨拶の後、野口先生より母校の近況を紹介してもらいましたが、今の大学の高度な取り組みに唖然とさせられました。議事審議では、27年度実績と28年度計画は異論なく承認されました。その他の項で、本部で説明のあった同窓会法人化についての取り組みや今後のスケジュールについて紹介しました。
 交流会では、先輩後輩が入り乱れて熱く語り、次年度の参加者増を誓って散会となりました。

横浜会



日 時 平成28年6月25日(土)
 開催場所 華正樓本店
 参加人数 6名
 実施事項 平成28年度横浜会総会
 幹事・報告者 松島 稔(製糸S37)

<幹事のコメント>

①会長より第53回通常総会の議事内容の説明および年間活動報告、会計報告がなされた。②会計監査人より会計報告書は適正である旨報告された。③横浜会規約の一部改訂の提案があり提案通り承認された。④会計担当常任幹事が病気療養中のため、役員改選の提案がなされ、会長(児玉満男氏)、常任幹事(松島稔氏)、会計監事(山川敏明氏)が選任された。
 総会後懇親会が行われ、新入会員も交え有意義な交流の場を持つことが出来た。

同好部会だより

「農工大支援ネットワーク(AT-Netz)」
 農工大技術交流会(異業種交流会改め)

日 時 平成28年6月25日(土)
 開催場所 農工大農学部内講堂、農工大植物工場 他
 参加人数 78名
 実施事項 講演「植物工場の現状と展望」(農学部長・農学研究
 院長 荻原教授) 植物工場見学、懇親会
 幹事・報告者 深水 智明(織工S38)

<幹事のコメント>

【参加者の感想】農業の新しい潮流としての植物工場、農業ビジネスの考え方に参考にされた。植物工場の見学ではブルーベリーの果実収穫量向上の技術、採算ベースの問題に関心が集まった。植物工場の見学は非常に喜ばれた。
 【幹事のコメント】この技術交流会では講演もさることながら、現場の見学が技術を理解する上で、特に市民講座的な交流会では有益と思われました。AT-Netzは他に、企業見学会や学生とOB・OGとの交流会等の学生支援等々の活動を進めています。

地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を活かすネットワーク(略称:Nets 風の記録)

日 時 (1)平成28年8月6日(土)、(2)平成29年3月29日(水)
 開催場所 農工大学50周年記念ホール及び農学部2号館11号
 参加人数 (1)12名、(2)18名
 実施事項 (1)物故者を偲び、その活動記録をまとめる。
 (2)各会員の地域貢献活動報告、今後の会の在り方についての懇談。
 (3)大学の教職員及び同窓生と「大学の使命と軍事研究を考えるフォーラム」を開催。
 幹事・報告者 淵野 雄二郎(農S43)

<幹事のコメント>

- 学習塾を立ち上げ、地域共育、保育運動に生涯捧げた大崎公雄氏(化工S48)、獣医師として畜産関係の業務に生涯捧げた木塚敏男氏(獣医S52)の足跡を何らかの形で取り纏めることにした。
- 福島県双葉町で復興支援活動に従事している上田勉氏(農工S46)、千葉県四街道市で里山の保全を守る実行委員会代表をつとめる任海正衛氏(電気S44)の活動が特筆された。
- 防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度」による大学への研究費供与が、大学の教育研究に及ぼす影響について、本学の大学憲章を踏まえて検証を重ねる必要があることを部会としても確認した。

農工大同窓会イノベーション研究会
 (略称名:ND-イノ研)

日 時 平成29年3月11日(土)
 開催場所 中野「樽や」
 参加人数 7名
 実施事項 新同好部会の決起集会・懇親会・イベント準備会(6/24用)
 幹事・報告者 菅野 茂樹(織高S49)

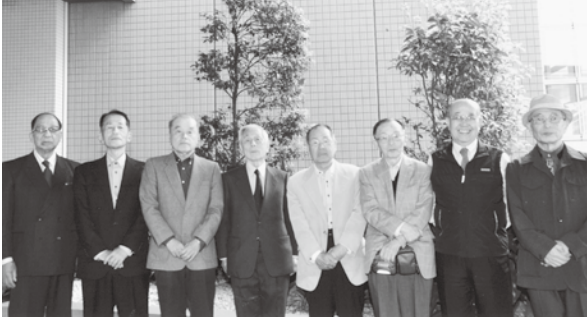
<幹事のコメント>

平成29年2月17日に新同好部会として承認されました。新同好部会会員の紹介や親睦を深める事からスタートし、農工大同窓会イノベーション研究会の略称名や内容・会則等についての把握、そして年間計画を立てる事話し合いました。具体的には本年6月24日に開催する「製糸技術、紡織技術の講演」と科学博物館の見学についての企画、準備、運営の打ち合わせを行いました。これからも皆さんでアイデアを出し合い、もっと大好きな農工大にして行こうと考えています。

クラス会だより

養蚕学科S35クラス会

養蚕 S35



開催日 平成28年4月16日(土)
開催場所 プリランテ武蔵野
参加人数 8名
幹事・報告者 石川 友一(養蚕S35)

<幹事のコメント>

80歳を迎えた仲間たちが傘寿の祝いを兼ねてのクラス会でした。大学からは長老の青木襄児先生、本間慎先生が出席をいただき、懐かしさいっぱいのお会でした。ただ、ここまでくると集まれる人も限定されます。1/3は既に逝去されたか、病気で医院や施設での生活。1/3は奥さんや家族の看護で手の放せない人。1/3が高齢ながら元気で参加できた人でした。
前は石垣島でのクラス会でしたが、今回は東京オリンピックの年に集まろうとの話も出ました。どうなることか？

林学科S46クラス会

林S46他



日時 平成28年5月20日(金)～21日(土)
開催場所 千葉県養老渓谷温泉「滝見苑」
参加人数 15名
実施事項 ハイキングと宿泊のクラス会
幹事・報告者 稗田 政義・渡邊 徹(林S46)

<幹事のコメント>

養老渓谷温泉「滝見苑」にて宿泊のクラス会を開催しました。参加者15名のうち12名は約2時間コースのハイキングも行い、結構なエクササイズになりました。来年は、渡部君の協力を得て、福島県郡山市周辺で開催の予定です。
なお、宴会での集合写真は前列左から、鈴木、大島、蓮尾(古川)、渡邊清信(獣医科)、稗田、渡部、後列左から高橋、井上、和田、半田、佐野、大野、川口、松本、渡邊徹です。

きさらぎ会

林S32



日時 平成28年6月1日(水)
開催場所 東京・原宿
参加人数 16名
実施事項 明治神宮の森見学と南国酒家での懇親会
幹事・報告者 寺嶋 稔(林S32)

<幹事のコメント>

きさらぎ会は、卒業20周年を記念して昭和52年に熱海市共済会館で旗揚げ、第2回は卒業25年の昭和57年に同じく熱海市伊豆山で開催。その後は幹事持ち回りで毎年開催。平成24年からは東京地区で開催するという変遷をたどっていますが、平成28年で33回目のクラス会となりました。
平成27年1月にNHK BSプレミアムで「明治神宮不思議の森～100年の大実験」が放映され、世間の関心が高まっている中、きさらぎ会は明治神宮の森の見学の後、懇親会を企画。懇親会は井草五郎君(瑞宝双光章)、中山昌治君(藍綬褒章)への記念品贈呈に始まって、2時間にわたる懇親会はあっという間に過ぎ去ってしまいました。

七起会

化工S47入学



開催日 平成28年6月4日(土)
開催場所 東京農工大学(農学部、工学部)
参加人数 19名
実施事項 ①農学部見学 ②工学部見学 ③懇親会
幹事・報告者 渡辺 洋(化工S51)

<幹事のコメント>

農学部正門前に集合し、記憶を辿り管理棟に入る。頻りに訪れた訳ではないが、妙に懐かしい。改築された図書館に入り、その近代的な設備に圧倒される。
工学部に移動し研究棟へ。同学科出身の滝山先生のはからいで、工藤助教の案内により研究室、実験室を見学。未来を夢見て研究に勤しんだ頃の思い出が、走馬灯のように脳裏を駆ける。タイムスリップしたかのように皆青年に戻り、当時のエピソードに花が咲く。興奮冷めやらぬまま、各研究室の前にて記念撮影。さらに、繊維博物館からリニューアルした科学博物館を見学し、先輩の偉業と日本の繊維技術の高さに驚嘆する。
懇親会は「エリプス」にて実施。自己紹介では、元気の出る話をお願いする。和気藹々の中、来年の再会を約してお開きとなった。

電気工学科S47入学クラス会

電気S47入学



日 時 平成28年6月11日(土)
 開催場所 農工大小金井キャンパス、東小金井
 参加人数 15名
 幹事・報告者 本橋 由紀也・本池 達郎(電気S52)

<幹事のコメント>

2年前から幹事持ち回りで活動を開始。今回は大きく変貌した小金井キャンパスの見学会をしようと話が出て、大学紹介プレゼンを渡邊敏行先生に依頼し『MORE SENSE』を理念として活躍していることを誇らしく感じました。キャンパス案内を同窓会の池谷事務局長にお願いしました。小金井キャンパスにあった桑畑は、今はすっかりなくなり見知らぬ建物がぎっしりとなっていました。

懇親会は東小金井駅前の居酒屋で行いました。今回、新たに3名が参加しましたが40年のブランクもあつという間に埋まり、他愛のない話に盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

電気工学科(1期生)S41クラス会

電気S41



日 時 平成28年6月18日(土)
 開催場所 隠れ房 御庭(新宿)
 参加人数 16名
 実施事項 近況報告・親睦
 幹事・報告者 野辺 博康(電気S41)

<幹事のコメント>

卒業から50周年の記念すべき年に、参加しやすさを優先して新宿に集まりました。別府、山口、秋田、仙台からの参加者もあり旧交を温めあつた。各人の近況報告では、体の話、趣味の話などみんなの興味のある物が多く語られていた。あつという間の3時間でしたが、ちょっと物足らず、新宿の空気が感じられる屋上レストランでの2次会となり、2年後の再会を約束して帰路につきました。

農学科・養蚕学科S43入学合同クラス会

農・養蚕S47・48



日 時 平成28年6月25日(土)
 開催場所 オールドステーション(東京駅)
 参加人数 20名(農14名、養蚕6名)
 実施事項 黙とう・親睦・近況報告
 幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

<幹事のコメント>

開会直後、平成27年11月に亡くなった村岡さんへの黙とうが捧げられました。

ワインとステーキなどの豪華メニューを頂きながら、矢板温泉、畑・米づくり、ジャズピアノ、山登り、同窓会、農業委員、当日が誕生日などの近況・話題に、各テーブルで懇談の花を咲かせました。入学、農場実習や最近のクラス会の紹介の後、手締め、記念撮影をして、ひとまず中締めとなりました。

二次会もさらに盛り上がり、シメは日テレ所さんの目がテン「かがくの里」の松村氏が左手骨折誤診と右手腱鞘炎事件?を語った後、来年の再会を約束して、めでたく御披露喜となりました。

西ヶ原寮41会

西ヶ原寮S41



日 時 平成28年6月29日(水)
 開催場所 浜名湖ロイヤルホテル
 参加人数 10名
 実施事項 近況報告・親睦
 幹事・報告者 若尾 俊雄(製糸S41)・小山 邦彦(電気S41)

<幹事のコメント>

卒寮して半世紀という記念すべき同窓会となりました。場所はいつもの熱海から浜名湖としてお互いに健康での再会を喜び、この会が末永く続くことを祈念しました。

出席者も固定したように見えますが、再会するたびに寮時代の新たなエピソードが出て、楽しいひと時を過ごしました。今後とも「西ヶ原寮41会」の活動を紹介し、広く卒寮生の参加を呼びかけて親睦の和を広げて行きたいと思えます。

最後に皆さんに西ヶ原寮歌を思い出して戴けるようその一部を引用しておきます。

春乾坤にめぐりきて 武蔵野野辺に濃き緑
 芙蓉の峯を仰ぐ日も 希望に満ちて光あり

農業生産工学科S44クラス会

農工S44



開催日 平成28年7月6日(水)～7日(木)
 開催場所 マホロバ・マイズ三浦、鎌倉
 参加人数 16名
 実施事項 会食、懇談、寺院参拝
 幹事・報告者 加藤 誠(農工S44)

<幹事のコメント>

一昨年の宇都宮に続き、今回は鎌倉在住の日下幹事がお骨折りくださり実現した。参加者は14名+2名(御夫人)であった。初日は食事をとりながら、お互いの近況などを語り合いましたが、寄る年波の近いものの一歩前というような感じであった。翌日は、鎌倉の長谷の十一面観音様と鶴岡八幡宮を参拝し、井上蒲鉾店で、古都の昼食を味わい解散した。

両日共に、梅雨の晴れ間の晴天で、猛烈に暑い日であったので、皆へたばりました。

養蚕学科S44クラス会

養蚕S44



開催日 平成28年8月7日(日)
 開催場所 上野『木曽路』
 参加人数 9名
 実施事項 近況報告・親睦
 幹事・報告者 坂本 元五郎・篠原 隆美・菊地 新一(養蚕S44)

<幹事のコメント>

昭和44年度に府中キャンパスを巣立ち、あれからほぼ半世紀近く経過したのを機会に5名の発起人・幹事によりクラス会開催の計画をしました。

開催趣旨説明の後、メンバー内の故人(4名)となられた方々に対し、黙とうを捧げました。また、我らの恩師、本間慎名誉教授にご臨席を賜わることができ、大いに盛り上がり、紙面をお借りし改めて厚くお礼申し上げます。

挨拶・乾杯の発声でスタートし、その後逐次、出席者全員に近況報告を頂きました。皆さん益々意気軒昂で頑張っている姿が多く大変有意義な中身でした。

次回開催の予定としては、3年先位(または東京五輪の頃)がいいのではという不定期開催で一致し、盛会裏のなか最後は握手で散会となりました。

藤本大三郎先生 瑞宝中綬章受章記念祝賀会

農化・応生 生物化学研究室S62～H13院



開催日 平成28年7月17日(日)
 開催場所 ホテルメトロポリタン東京池袋
 参加人数 72名
 実施事項 祝賀会
 幹事・報告者 殿塚 隆史(農化H2)

<幹事のコメント>

本学名誉教授である藤本大三郎先生は、昭和61年から平成11年まで本学教授として、教育と研究に多大なる貢献を果たされました。

平成28年春の叙勲において瑞宝中綬章を受章されたことを記念し祝賀会が開かれました。参加者は、本学の元・現教員、生物化学研究室の卒業生のほか、藤本先生が研究対象とされてきたコラーゲンに関係する業界の方も数多くご参加いただきました。卒業以来久しぶりにお会いする方も多く、盛大な会となりました。

司会は、当時本学助手であった館川宏之先生に、開会の挨拶は同じく当時助手であった高橋伸一郎先生より頂きました。本学名誉教授の坂野好幸先生より乾杯のご発声を頂き、また、副学長(当時)の千葉一裕先生をはじめ、業界の方や卒業生から祝辞を頂きました。最後に藤本先生よりお言葉を頂戴し、本学に勤めていた時の講義を思い起こさせるようなユーモアを交えたお話を頂き、参加者一同たいへん楽しいひと時を過ごしました。

環境保護学科S55クラス会

環保S55



開催日 平成28年9月3日(土)
開催場所 同窓会50周年記念ホール
参加人数 12名
実施事項 懇親会
幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

昨年に引き続きの開催となりました。今年の話は、「定年退職」や「退職後の人生」が中心だったように思います。来年もまた企画することとなりましたので、同期の皆さん、ぜひ参加してください。

202会

農工S41～S45



日時 平成28年9月5日(月)
開催場所 ライオン会館安具楽
参加人数 14名
幹事・報告者 大久保 允文(農工S41)・加藤 誠(農工S44)

<幹事のコメント>

本会は、十数年前から昭和41～43年卒のゴルフ同好の同窓生が、その表彰、反省会を行っていたことから始まり、初代会長は、故照屋至氏(農工S41)でした。

“202会”という会の由来は、会を始めたころのゴルフコンペにおいて、202のハイスコアの記録から名付けられたものだそうです。農業環境工学専攻の同窓生は、是非入会いただきたいです。

席上では、各自の周りの話題が報告され、自身や家族の健康のこと、友人の消息などがほとんどで、今回は、ゴルフの話題は出ませんでした。皆70歳を過ぎ、人恋しくなってきた大人が、取り留めもなく話すというような会であり、これもこれで、楽しいものです。次回の開催を、ご期待いただきますように。

平成28年度東京農工大学林務関係同窓会

林、林産、環保、環資、地生



開催日 平成28年9月10日(土)
開催場所 柚柚(ゆゆ)本川越店
参加人数 17名
実施事項 近況確認・親睦
幹事・報告者 田畑 琢己(林S62)

<幹事のコメント>

埼玉県内の林務関係者の同窓会です。平成27年に続いての開催となりました。

最年長者は林学科を昭和52年に卒業した同窓生から、昨年入庁した新規採用職員まで幅広い年齢層でした。

余燦会

農化S43



開催日 平成28年9月23日(金)
開催場所 国技館他
参加人数 14名
幹事・報告者 大島 誠之助(農化S43)

<幹事のコメント>

3年ぶりのクラスは、国技館と浅草橋のチャンコ屋で大いに旧交を温めました。大相撲は予約に苦勞しました。知人ルートで何とか狙い通りの13日目をゲット。この日辺りが稀勢の里の横綱昇進の決定日、とヤマを掛けたのです。残念ながらこちらは前半戦の不振で大外れ。代わりに豪栄道が全勝街道まっしぐら、当日は日馬富士に大逆転勝利、館内観衆が一体となって大いに溜飲を下げたものでした。

今回は長崎から白井君も参加、また何十年ぶりかの再会の同級生もいました。しかし、そこは同じ釜の仲間同士、懇親会も昔話や近況報告などに大いに盛り上がりました。もっとも昨年物故された同期が1名、合計4名に。皆元気うちに時々顔を合わせよう、と2年後の長崎開催を約しました。余燦会員の皆さん、是非ともご予約を。

養蚕学科S30クラス会

養蚕S30



開催日 平成28年9月28日(水) 一泊二日
 開催場所 甲斐の国石和温泉郷「ホテルやまなみ」
 参加人数 5名
 実施事項 近況報告・親睦
 幹事・報告者 八木 恒(養蚕S30)

<幹事のコメント>

西ヶ原を卒業してはや61年、概ね2年に一度の間隔で、持ち回りでクラス会を開催した。参加人数は、6年前が14人、2年前には9人と寄せる波には勝てないものだ。

今回の参加は健康老人の5人。厚木の物静かまで几帳面な太田芳男氏の言葉を借りて、熊本の爽やかな秋山文司氏と、福島の朴訥な阿部弘氏の、それぞれ大地震の被害の状況と原発放射能の被害と除染の話に驚かされた。熊谷の三木六男氏は、今年の猛暑は群馬に変わったと相変わらずのマイペースぶりを見せていた。

体力的に不安を抱えた80歳代半ば近い者同士、長く続いたクラス会は今回で打ち切ることを了解した。名残惜しい溜息の中、地元産の美味しいワインを酌み交わして会は盛り上がり悩みが消えた。親切でユーモラスな八王子の八木恒は、自分の体力の衰えを忘れて次は熊本で会おうと言っていた。

農芸化学科H5クラス会

農化H5



日時 平成28年10月1日(土)
 開催場所 東京農工大学・武蔵野荘ラウンジ
 参加人数 26名
 幹事・報告者 北野 克和(農化H5)

<幹事のコメント>

卒業後、初めてクラス会を開催しました。20年以上も会っていないとあまり盛り上がらないのではないかと心配もしましたが、13時から開始し、途中、中締めを行いました。結局は19時過ぎまでほとんどの参加者が残り、大盛況な会となりました。

今後は4年に1回、オリンピックイヤーに開催することとし散会になりました。

S37義寮11号室会

S37義寮11号室



開催日 平成28年10月9日(日)
 開催場所 大分県別府「小菊」
 参加人数 3名
 実施事項 親睦
 幹事・報告者 立川 道雄(電気S41)

<幹事のコメント>

第1回は平成23年に伊豆長岡(三養荘)で開催、卒業以来半世紀振りでしたが、田中(工化)・辻田(工化)・滝上(機械)・立川(電気)が参加、陣内(製糸)が欠席、5人中4人が集まりました。

今回は別府でと、やっと実現出来ました。前回と同じ4人参加の予定でしたが、1人体調が悪く3人になりました。翌日、地獄蒸して「ランチ」をとり足湯に浸かった後、海地獄・血の池地獄・高崎山と周り別府駅で解散しました。

機械工学科S40クラス会

機械S40



日時 平成28年10月14日(金)
 開催場所 御茶ノ水ホテルジュラク「白鳥の間」
 参加人数 20名
 実施事項 懇親、近況報告、情報交換他
 幹事・報告者 新井 三夫(機械S40)

<幹事のコメント>

幹事役は研究室持ち回り制で、今年は田中研究室が幹事を務めました。旧友との歓談を楽しみながら会を進め、全員にスピーチを行って戴き、健康、趣味などの近況報告に花が咲き、お互いに関心の高い話題になると、発表者に相次ぐ質問で話が盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。お互い、健康に注意して、来年の再会を約束し、閉会としました。

養蚕学科S29クラス会

養蚕S29



開催日 平成28年10月15日(土)
 開催場所 八重洲「日本海庄や」
 参加人数 7名
 幹事・報告者 本間 慎(養蚕S29)

<幹事のコメント>

昭和29年3月に養蚕学科を卒業した人は23名で、少人数ながらも友情を深めて62年、多くの人が85歳を迎えました。その間、亡くなった級友は12名、今回の参加者は7名でした。歳なりに老いて、杖を使用している人や難聴の友もいるものの、頗る元気で、今まで車椅子で同級会に参加していた友人が今回は車椅子でなく、歩いて来られたのには驚きました。いつもの論客ぶりを発揮し、健康を取り戻したのには乾杯でした。最愛の奥さんを2年前に亡くされ、寂しく、亡妻の有り難みをしみじみ感じているという話を聞き、われわれもその身になる可能性があり得るので、心に深く響きました。人生の終末期にきていますが、人生はこれからだという意気込みで頑張りたいものです。

広島県職員同窓会



開催日 平成28年11月26日(土)
 開催場所 お食事処「栄助」
 職域 広島県庁
 参加人数 8名
 実施事項 懇親会
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

昨年に引き続きの開催となりました。同窓生も22名と若い同窓生が増えています。当日は採用1年目の同窓生も参加し、大変話が盛り上がりました。報告者は、平成28年度で定年退職となりますが、来年以降もこの会が開催されることを望んでいます。

当日は、県立総合技術研究所食品工業技術センターの大土井律之さん(農化院H6)が同センターで開発された「焼がきに一途な純米酒」を持参して下さいました。残念ながら当日の料理には牡蠣はありませんでしたが、その他の魚料理にも合うおいしいお酒でした。

また、会場の店主は報告者と同期採用の元県職員ですが、みんなの楽しそうな会話を聞いて、農学部志望の娘さんにぜひ東京農工大学進学を勧めたいと言ってくれました。広島県出身の後輩の誕生を祈っています。

農学科S23クラス会

農甲乙S23



開催日 平成28年11月27日(日)
 開催場所 中野サンプラザ「なかの」
 参加人数 11名
 実施事項 忘年会・懇親会
 幹事・報告者 青木 茂(農乙S23)

<幹事のコメント>

私たちのクラスは昭和20年の入学で、終戦により拓殖科と軍関係復員学徒を吸収したため卒業時は129名という大勢でした。母校教授となった井上完二君や農文協の原田勉君たちの努力下、昭和40年代から同窓会・親睦旅行会を20回ほど行っていました。そして平成10年「卒業50年記念誌」を発行し、これ以後ほとんど毎年同窓会を開いています。

参加者はだんだん減りましたが、今回集まったのは11名、平均年齢90歳ですから立派なものです。

写真：前列右から吉川・松村・梅沢・坂本／後列右から白井・小嶋・青木・小澤・植村・中村・中島

農工大学フォークダンス部OB会

農工大学フォークダンス部



日時 平成29年3月11日(土)
 開催場所 土風炉錦糸町店
 参加人数 8名
 幹事・報告者 古川 誠(環保S52)

<幹事のコメント>

農工大学フォークダンス部OB会は今年で3回目となります。部の存在自体知らない方は多いと思いますがまだ現在の農工大で活動が活発に行われていることを知り驚きです。

当時の部は結構硬派(?)でパートナー校の白梅学園とのお付き合いよりも、部の男同士の付き合いがかなり盛んでした。国分寺

の居酒屋が根城でした。もちろんダンスそのものも結構ハードで、いまだに皆足腰が強いのは鍛えられたおかげかもしれません。

3年前に私と同世代の連中の声掛けによりフォークダンス部OB会が実現しました。話は定年後の各自の近況が中心でしたが、やはり当時の諸先輩・後輩達や白梅学園の麗しい女性の思い出など話が尽きませんでした。

今後も毎年2月から3月に行う予定ですので、是非、部OB方々ご参加よろしくお願いいたします。

※写真左から永沢、古川、田部井、鶴見、北川、前田、近藤、桑名

平成28年度バスケットボール部OBOG会

バスケットボール部



日 時 平成29年3月20日(祝)
 開催場所 東京農工大学武蔵野荘50周年記念ホール
 参加人数 30名
 実施事項 OBOG会
 幹事・報告者 岩見 雅人(工学研究院 助教)

<幹事のコメント>

本年は、毎年学園祭(11月)に開催されるOBOG会と時期を隔てて、年度末にも「納会」を兼ねた「OBOG会」を開催しました。

年度末の多忙な時期にもかかわらず総勢30名にご参加いただき、1969年卒業生～現役生に至るまで、世代を超えた交流や昔話・武勇伝を楽しむ場となりました。現在、バスケットボール部が活動できているのは部を支えてくださるOBOGのご協力とご助言あつてのことと、改めて実感する機会となりました。

例年通り、今後も学園祭期間中にOBOG会を定期開催する予定です。ご都合の合う方は、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

たった三人の同窓会

製糸S26



日 時 平成29年3月29日(水)
 参加人数 3名
 幹事・報告者 荒井 宏智(製糸S26)

<幹事のコメント>

昭和23年の春、北は北海道、西は岡山から38人が小金井の学舎に集った。戦後の混乱した瓦礫の街、悪性インフレで深刻なタケノコ生活、よく言われた闇市時代あるいはカストリ時代真っ只中であつた。運配、欠配、代用食で食うに精一杯であつたが、耐乏生活に知恵をしまり、蛍雪の功成り卒業し、希望を胸に社会に飛

び出していった。青春時代のないないづくしが38人の絆を強くしたが、今や半分がこの世を去り、残り半分が病の床に臥し、又その半分が病の断末魔の中で苦闘している。今回やっと乗物に乗れる3人が集まり「たった三人の同窓会」をやった。話題は小金井時代に戻り意気軒昂なるものがあつた。長い才月を一瞬で乗り越えられる学友の大切さに改めて気付かされた。「また会おうな」と言えば「おう」と照れることなく返ってきた。西ヶ原万才!

写真は左から、荒井、大島、中沢

農芸化学科S45クラス会

農化S45



開催日 平成29年4月1日(土)
 開催場所 目黒香港園
 参加人数 11名
 幹事・報告者 平山 誠(農化S45)

<幹事のコメント>

「さまざまの事 おもひ出す桜哉」

の心境になってくれたらと思ひ花見のタイミングで開催しました。元気な面々に出会い、楽しい時間を過ごすことができました。

電気工学科S44クラス会

電気S44



日 時 平成29年4月21日(金)
 開催場所 農工大学工学部140周年記念会館(エリプス)
 参加人数 14名
 幹事・報告者 任海 正衛(電気S44)

<幹事のコメント>

参加者の多くが48年ぶりに訪れた母校。思わず「浦島太郎だな」と、東小金井駅、母校の変容ぶり、女子学生の多さに驚く。忙しい中、会館管理の高水元事務長から最近の大学の様子を、電気電子工学科の鄧先生からは昔学んだ研究室の案内をしていただいた。学生から紹介された最近の研究には、興味津々で質問が止まらない。70歳を過ぎると、本人や家族の病気等も増え、参加者は三年前に比べ減少したが、近況を出し合い旧交を温めた有意義なひと時となった。

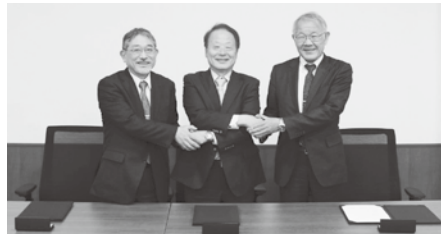
掲 示 板



東京外国語大学・東京農工大学・電気通信大学の更なる連携・協力、協働の推進に向けて ～三大学による基本協定書を締結～

平成29年2月27日、東京外国語大学（所在地：東京都府中市、学長：立石博高）、東京農工大学（所在地：東京都府中市、前学長：松永 是）、電気通信大学（所在地：東京都調布市、学長：福田 喬）は、これまでも様々な連携を図ってきたところですが、平成28年度より開始した「西東京三大学連携を基盤とした文理協働型グローバル人材育成プログラム」を契機に、更なる連携・協力を進め、この度、三大学の連携・協力の推進に関する基本協定書、さらに、本協定に基づく三大学連携事業に係る単位互換に関する覚書を締結しましたのでお知らせします。本協定書及び覚書の締結により、国際的

に活躍できる人材の養成や国際水準の大学教育プログラムの構築に向けた三大学の協働が更に加速するものと考えています。



協定書を交わし、握手する立石東京外国語大学長（左）、松永東京農工大前学長（中央）、福田電気通信大学長（右）

遠藤章特別栄誉教授が「2017年カナダガードナー国際賞」を受賞

ガードナー財団は、3月28日（火）、Canada Gairdner International Award 2017（2017年ガードナー国際賞）を本学遠藤章特別栄誉教授に授与すると発表しました。ガードナー国際賞は生命科学・医学分野の賞として、最も著名な賞の一つとして知られ、受賞者の多くがノーベル賞を

受賞しています。遠藤章特別栄誉教授は、青カビから血中コレステロール値を下げる薬の開発につながった物質「スタチン」を発見した功績が認められ、同賞を受賞しました。授賞式は10月にカナダ・トロントで行われる予定です。

ホームカミングデー

平成28年11月13日（日）、本学を卒業・修了された同窓生の方々を対象に、大学主催によるホームカミングデーを実施しました。当日は、記念式典や懇親会などのイベントをご用意し、約60名の方にご参加いただきました。

本イベントが、同窓生と本学とのつながりを深めるきっかけとなるとともに、学科・専攻、年代の垣根を越えた交流の場となることを願っています。今年度は11月11日（土）に開催予定です。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

第59回農工祭

同窓会員の皆さま、初めまして。2017年度学園祭実行委員長の中野純志です。

今年は11月10日～12日の3日間に開催される学園祭に、同窓会のOBOGの皆様にも、もっと足を運んでいただきたいという願いのもと、この場をお借りして宣伝させていただくことになりました。

今年で59回を数える学園祭ですが、先輩方の作り上げてきた学園祭に恥じぬよう、より良い学園祭を作り上げていくつもりです。様々なサークルや研究

室をはじめとする各団体の模擬店、メインステージで開催されるミスコンやミスターコン、カラオケ大会など、学園祭らしい企画を見て盛り上がるだけでなく、懐かしい敷地にもう一度足を踏み入れ、農工大での思い出に浸っていただきたいです。

実行委員だけでなく、在学中の学生全員が一丸となり素晴らしい学園祭を作り上げますので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。府中キャンパスにて、学生一同お待ちしております。

2017年度公開講座

今年度も本学公開講座が開講されています（農業教室、スポーツ講座、子供科学教室、他）。最新情報や詳細は以下のリンク先からご覧ください。

<http://www.tuat.ac.jp/outline/disclosure/koukaikouza/2017/>



慶 弔

慶 事 お祝い申し上げます

平成29年春の叙勲

宮田 清蔵（元学長）	瑞宝中綬章
横手 一郎（名誉教授）	瑞宝中綬章
真木 太一（農S41）	瑞宝中綬章

平成28年秋の叙勲

鮎澤 光昭	瑞宝双光章
（長野県前支部長・養蚕S42）	

ご当選おめでとうございます

市議会議員選挙2017

田中 裕規（化工S57）	三原市議会議員（広島県）
--------------	--------------

弔 事 ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

元教官 伊藤 健一	栽桑 長岡 壮雄 (S16)	製糸 飯島十三五 (S12)
漆山 祥司	織農 木暮 幹夫 (S23)	高瀬 勝重 (S16)
棚澤 一郎	織別 小林健一郎 (S30)	岡野 修一 (S18)
松本 正雄	長橋 孝作 (S32)	加田 修 (S19)
（歴代学部長）	養別 阿部 将 (S27)	萩田 威 (S24)
農 利根川 信 (S16)	植防 紺屋 一美 (S45)	吉田 甚五 (S24)
吉原 秀之 (S25)	農化 大賀 溪生 (S25)	龍宝 省己 (S24)
阿部善三郎 (S30)	二宮 啓輔 (S34)	長谷川昭平 (S25)
中坪 永治 (S30)	武田 弘紀 (S39)	荒井 三雄 (S35)
吉田 富雄 (S34)	矢野 啓司 (S47)	松浦(松本)達廣 (S36)
高村 忠彦 (S37)	林産 佐久間哲雄 (S44)	糸専 横川 浩 (S23)
拓殖 吉野正太郎 (S16)	吉田 博 (S47)	織工 石譚(大河)弘衛 (S30)
小川 力也 (S19)	環保 亀井 裕幸 (S53)	矢澤 昌祥 (S34)
農乙 平澤 五朗 (S22)	林 北村 禎造 (S22)	入子 俊昭 (S38)
大倉 智次 (S23)	若月 弘 (S23)	代蔵 篤 (S44)
養蚕 金田 恵喜 (S15)	塩澤 昭一 (S25)	織化 増澤 政男 (S31)
金田 寛 (S24)	江角金次郎 (S28)	工化 伊藤 康人 (S52)
新島僕三郎 (S24)	栗田 貞治 (S28)	機シス 廣澤 佑介 (H25)
大石(宮本)清隆 (S25)	青木 宏 (S60)	数情 森永 智之 (H5)
江連 恒夫 (S26)	農工 浦 元信 (S48)	
高橋 誠恵 (S40)	獣医 沢田 實 (S28)	
後久 達雄 (S43)	本間(寺島)国利 (S32)	
養実 町田 博 (S15)	中阪 昌敬 (S51)	
秋元(北讓)三男 (S23)	獣畜 小池 和明 (S25)	
池田 高木 (S24)		

※訃報の掲載は、ご家族から掲載の許可をいただいた方および、新聞等で公表された方のみ掲載

株式会社 八木製作所

創 業：1963年(昭和38年)

所 在 地： **本 社** (JR中央線豊田駅徒歩1分)

東京都日野市豊田4-36-16

八王子第一工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩3分)

東京都八王子市大和田町3-4-17

八王子第二工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩5分)

東京都八王子市大和田町1-21-12

業務内容：事務機器、光学機器、医療機器等の部品の精密加工及び
治具の設計・製作・組立

H P : <http://www.yagiseisakujo.co.jp>

MAIL : support@yagiseisakujo.co.jp

困った時も八木製作所!



HIRAKAWA WINERY
YOICHI

株式会社 平川ワイナリー

代表取締役 平川 敦雄 生物生産学科(1999年卒)

農工通信限定、農工大の皆様だけの特別6本セットをご用意致しました。



ノートル・シエクルグランドキュベ
2016年

- ① オマーージュ2015年(赤)
品種：ツヴァイゲルト、上品なフルボディ。
- ② スゴン・ヴァン2015年(赤)
品種：レгент、まろやかな中重口。
- ③ 藤城議ツヴァイゲルト2014年(赤)
品種：ツヴァイゲルト、前所有者の名。中重口。
- ④ ノートル・シエクル2016年(白)
品種：ケルナー、フラッグシップワイン。辛口。
- ⑤ 平川キャンベルロゼ2015年(ロゼ)
品種：キャンベル、フルティーな中口。
- ⑥ ポワレ・ドゥ・ヨイチ2015年(フルーツワイン)
品種：洋梨パートレット主体、瓶内二次醱酵の微炭酸。

¥30,000円 (送料、税、代引き手数料込み) 限定100セット (なくなり次第終了とさせていただきます。)
株式会社平川ファームからのお届けになります。

お問い合わせは、こちらのメールアドレスから
hirakawafarm.yoichi@gmail.com

事務局だより

1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

終身会費30,000円または年会費1,500円（※年会費は年度4月～3月を1年としています。）

◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です

◇過去に遡って納入の必要はありません

※7月中旬時点のデータに基づいておりますため、行き違いで既にご入金頂いておりますらご容赦下さい。

2. 就職先情報提供のお願い

同窓会では就職支援の一環として、就職活動中の在学生に対し、みなさまの勤務先と氏名の情報提供をしております。在学生への情報提供を希望されない場合は、「本学学生への就職支援」について、**平成29年10月末日までに、同窓会ホームページ「会員情報」または、同封の「住所・勤務先変更連絡票」にて**同窓会事務局までお知らせください。**ご連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。**

3. 住所等の変更・メールアドレスの新規登録について



農工通信は、ご登録いただいているご自宅住所にお送りしております。転居等で住所等、登録内容の変更があった場合は、同窓会事務局までご連絡願います。※ご実家住所を気付（様方）でご登録の場合、届かないケースが増えておりますので、現住所をお知らせください。

また、メールアドレスを登録いただきますと、各種連絡がスムーズに行えますので登録をお願いいたします。

登録内容の更新・変更は、同窓会ホームページ「会員情報」からお手続きができます。従来通り、「住所・勤務先変更連絡票」でも受付けしております。

なお、同窓会が保有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

4. 東京農工大学伝統歌

同窓会ホームページにて、東京農工大学伝統歌のページを開設しました。

本学グリーククラブによる以下の伝統歌の試聴、ダウンロード可能です。<http://tuat-dousoukai.org/song/>

東京農工大学学歌/農学部歌/駒場小唄/武蔵野逍遙歌/
色の黒いやつ/渡良瀬逍遙歌/ペロリ節/獣医科、おうまの歌/獣医科、ストームの歌/試験管ラブソディー/

お詫びと訂正

本誌92号において下記のとおり誤りがありました。

P26中村圭一氏 寄稿文「賞典録」

（誤）賞典録→（正）賞典録

（誤）効学金→（正）功労金

ご寄稿いただきました中村様および読者の皆様にお詫び申し上げます。

5. 名簿提供について

平成22年5月の名簿発行の廃止に伴い、従来の会員名簿に替わり、本会が保有する会員の個人情報は名簿提供依頼書等により会員に提供しております。

【申請書の入手方法】

- 1)同窓会事務局へ電話・メール等で、送付依頼
- 2)同窓会ホームページ「事務局便り・お知らせ」からダウンロード

【申請手続き】

利用目的	申請者	申請書	備考
部会・支部活動	部会・支部の連絡員	(様式1)部会・支部・クラス会等名簿提供依頼	—
クラス会・OB会等の開催	同窓会員		身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピー

※個人的な情報提供依頼は、ご本人の承諾を得て情報を提供します。

6. 会報への広告掲載の募集

「農工通信」は卒業生、賛助会員、教職員向けに約4万部発行しています。

本誌への広告掲載にご興味のある方は、同窓会事務局までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

Editor's note

広報・情報部長 亀山秀雄 (S48化工)

同窓会会長と農工大学学長の交代があり、その挨拶が今回のトップニュースでした。

草野洋一前会長、ご苦労様でした。さらに同窓生にとって重要なニュースは、総会で議論された同窓会の法人化の問題です。法人化について詳しい常務理事や事務局長を支部総会に派遣する用意がありますので、本農工通信を読まれて、この機会に各支部会で議論して理解を深めていただければと思います。支部活動は、

大学の研究成果の講演や支部会員の地域での活動の報告なども行われるようになり、活発になる傾向があります。支部活動と同様に、部会活動も是非活発に総会や講演会を企画されることを期待します。同好部会も6つになり、同窓生と在学生と市民との交流も活発化してきています。草の根的な活動ですが、農工大学の知名度を高め、新たな人的なネットワークを繋ぐ意味で重要な活動と考えております。同窓会の広報活動としてそのような活動を支援する意味から、それぞれの企画に財政的な支援も考えていますのでご相談ください。

お知らせ

通常総会構成員登録について

正副会長・支部長を始め、部会・支部から推薦のあった理事や代議員のほかに、一般の正会員も構成員として通常総会への出席が可能です。なお募集人数は60名以内となっております。詳しくは1月の同窓会ホームページにて告知いたします。

農工通信 第93号 (前期号)

発行日 平成29年(2017年)8月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局
TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail info@tuat-dousoukai.jp.org

URL <http://www.tuat-dousoukai.org/>

振替口座 00120-9-93147番

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適
 部会、支部会、同窓会でも
 ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]
賞典禄
 農工大ブランド本格焼酎

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（FSセンター）で栽培した原料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。
 「好評いただいております」「賞典禄（しょうてんろく）」「米・芋・麦の本格焼酎に加えて、芋・麦の熟成した原酒もそりい踏みとなり、ますます品ぞろえが豊富になりました。」
 この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味下さい。



原酒（麦） 米焼酎 芋焼酎 麦焼酎 長期貯蔵酒（米）

酒類販売管理者標識

販売場の名称及び所在地	東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター 東京都府中市幸町3-5-8
酒類販売管理者の氏名	本 林 隆
酒類販売管理研修受講年月日	平成 18 年 10 月 4 日
次回研修の受講期限	平成 29 年 9 月 30 日
研修実施団体名	社団法人 日本ボランティアチェーン協会

賞典禄 FAX 注文票 以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】

		平成	年	月	日
原酒 麦焼酎 (2,500 円) 43 度 720ml	本	米焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 41 度 720ml	本	芋焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
焼酎 米・芋・麦 3 種セット (4,200 円) 25 度 720ml×3	セット	麦焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
合計注文金額			円		

【ご注文者様情報】

お名前	フリガナ	
住所	〒	
電話番号	FAX 番号	
生年月日	T.S.H 年 月 日	※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】 ※ 1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。
 ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
 ※ 2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
 ※ 3 本注文票により収集された個人情報、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ：FS センター農工夢市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室

TEL042-367-5811